

令和2年度

がん検診等に関するアンケート調査報告書

令和3年3月

佐賀県健康増進課
がん撲滅特別対策室

<協力：一般社団法人 生命保険協会佐賀県協会>

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 目 次 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

I	調査概要	1
II	調査結果	4
1	回答者の属性	4
2	がん検診の受診状況等	6
(1)	健康診断等の受診状況	6
(2)	がん検診の受診状況	8
(3)	がん検診の受診機会	18
(4)	がん検診を受けなかった理由	28
《参考資料》		
1	がん検診等に関するアンケート調査票	41
2	アンケート調査協力者	43

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、佐賀県民に対してがん検診等に関するアンケート調査を行い、今後のがん対策推進への参考とするための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の実施主体

佐賀県健康増進課 がん撲滅特別対策室

3 調査の協力団体

一般社団法人 生命保険協会佐賀県協会及び協会加盟生命保険会社16社

4 調査結果

(1) 調査数

3,255人(男性1,186人 女性2,069人)

※ なお、調査結果には、年齢未回答者(8人)及び20歳未満(23人)を除き、集計している。

(2) 調査期間

令和2年7月1日(水)～10月30日(金)

(3) 調査内容

- ① 回答者の属性(住所地、性別、年齢)
- ② 健康診断等の受診状況
- ③ がん検診(肺がん、大腸がん、胃がん、子宮がん、乳がん)の受診状況
- ④ がん検診の受診機会
- ⑤ がん検診を受診しなかった理由

(4) 調査方法

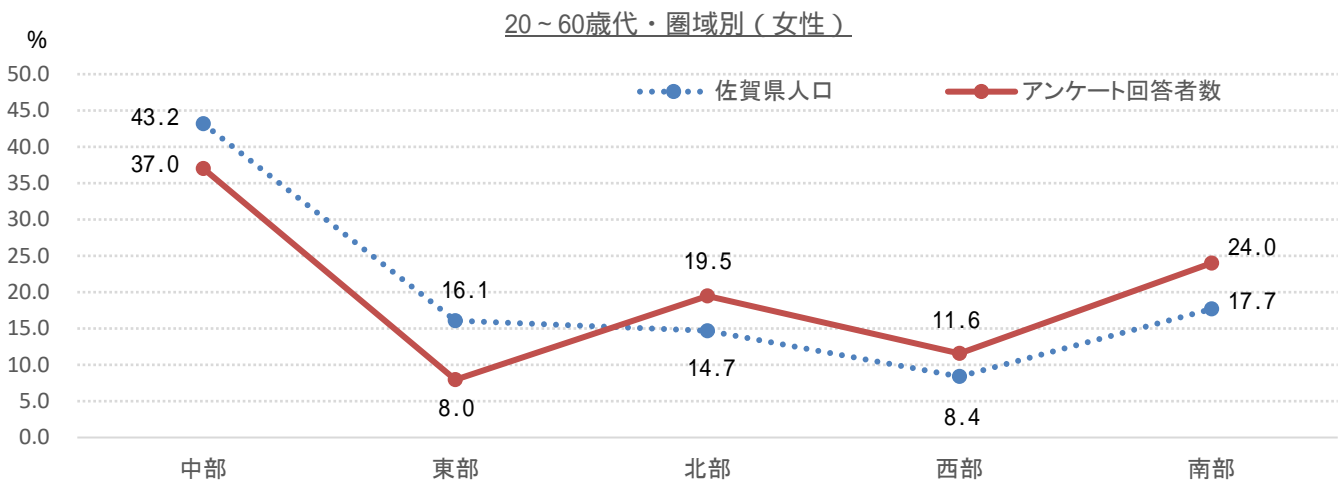
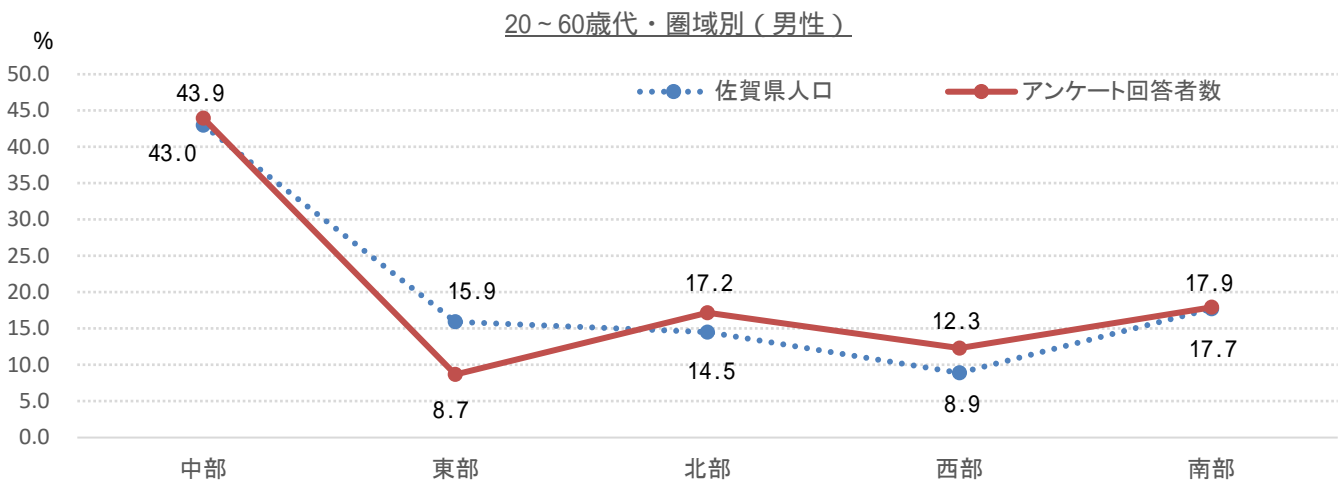
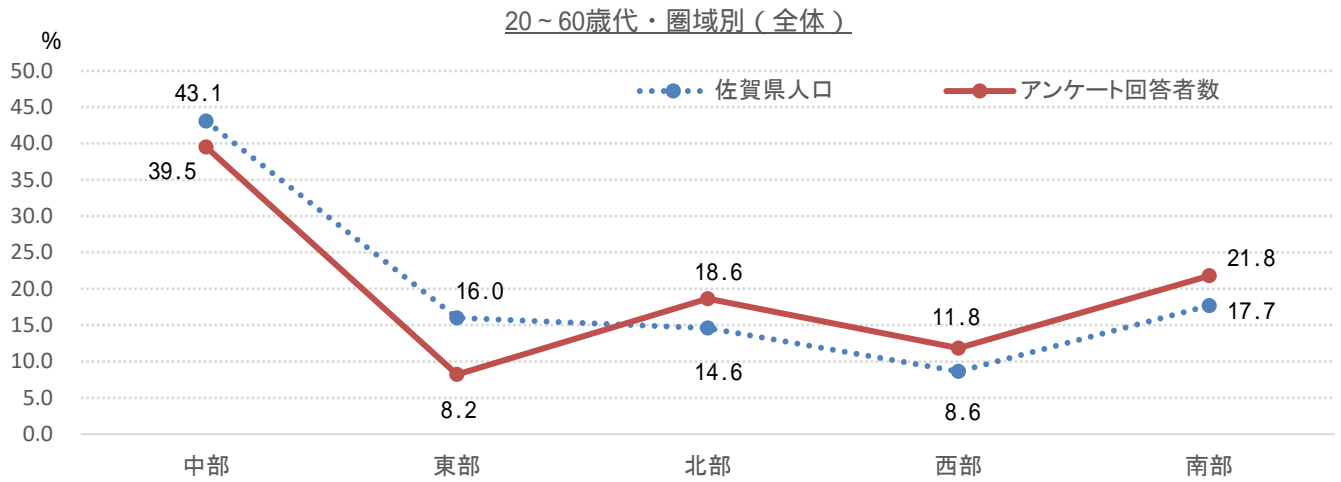
一般社団法人 生命保険協会佐賀県協会の協力を得て、当協会加盟生命保険会社営業職員による顧客へのアンケート調査

5 報告書を読む際の留意点

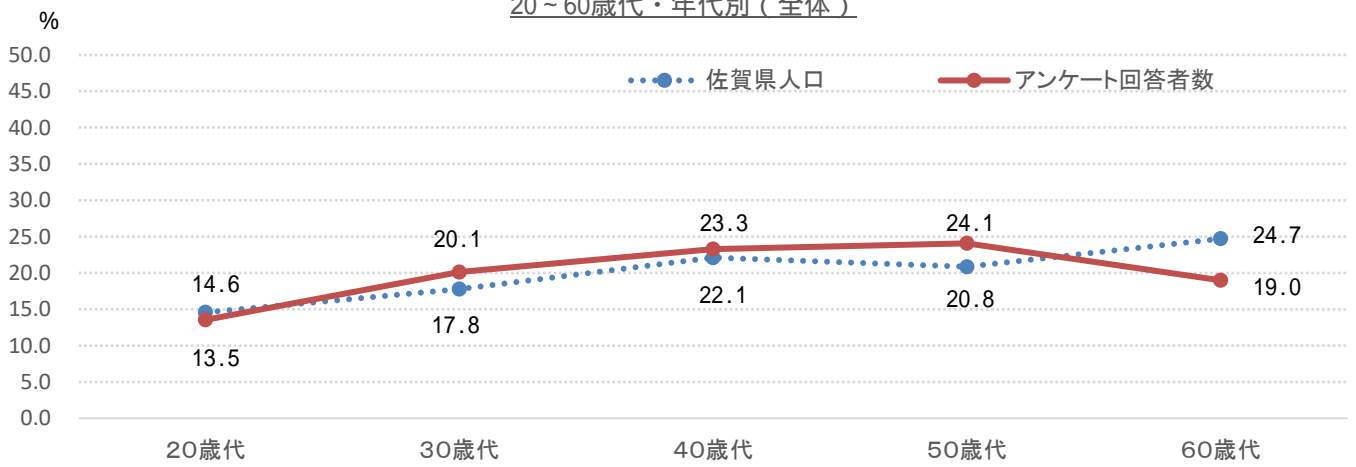
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、必ずしも合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答の場合、比率の合計が100%を超える場合がある。
- (3) グラフ中に表すNは、比率算出上の基数(標本数:人数)である。

【参考】

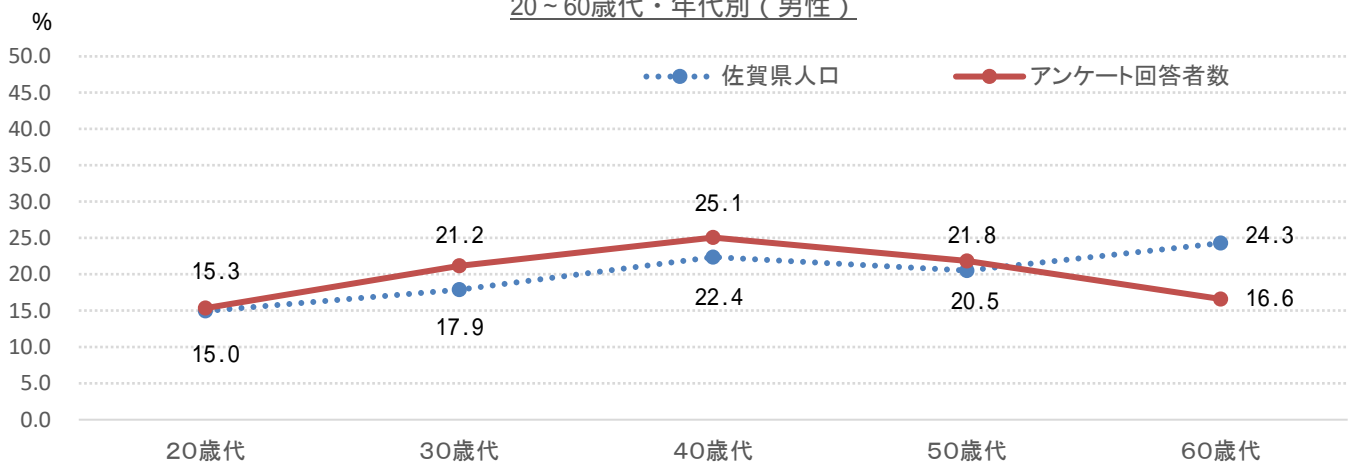
20歳代～60歳代の佐賀県推計人口（令和2年10月1日現在）と今回の回答者数について、圏域・年代ごとの割合を比較したが大きな偏りはなかった。



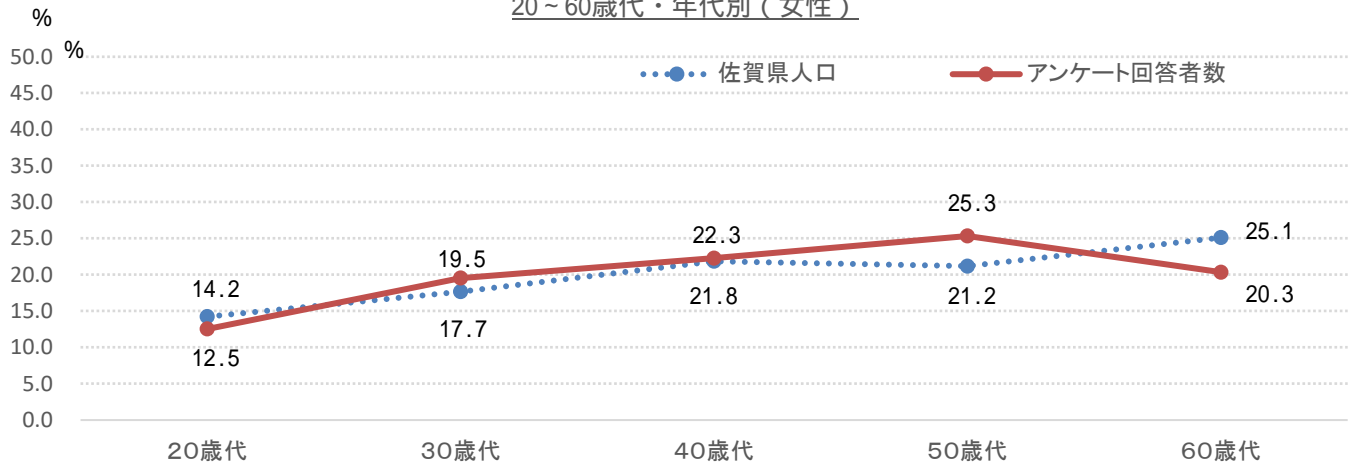
20～60歳代・年代別（全体）



20～60歳代・年代別（男性）



20～60歳代・年代別（女性）

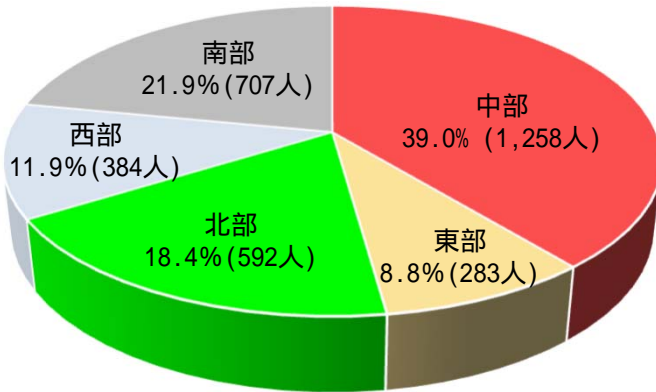


II 調查結果

1 回答者の属性（20～70歳代）

（1）回答者の住所地（保健医療圏域別）

1 回答者の住所地（N=3,224）



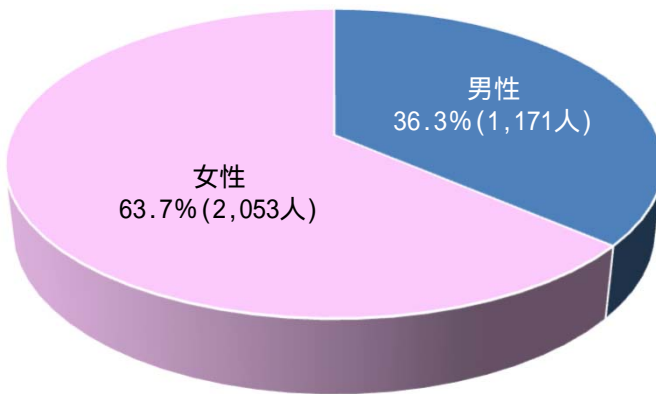
※保健医療圏域

- 中部（佐賀市、多久市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町）
- 東部（鳥栖市、基山町、上峰町、みやき町）
- 北部（唐津市、玄海町）
- 西部（伊万里市、有田町）
- 南部（武雄市、鹿島市、嬉野市、大町町、白石町、江北町、太良町）

（2）回答者の性別

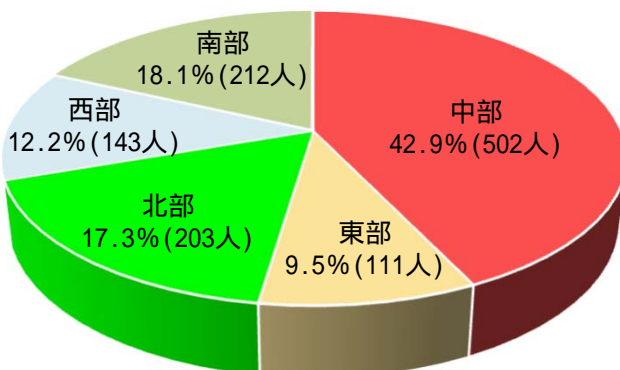
《全体》

2 回答者の性別 全体（N=3,224）

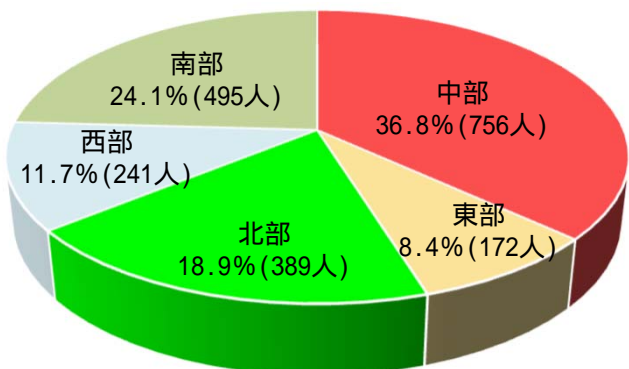


《保健医療圏域別》

3 保健医療圏域別 男性（N=1,171）

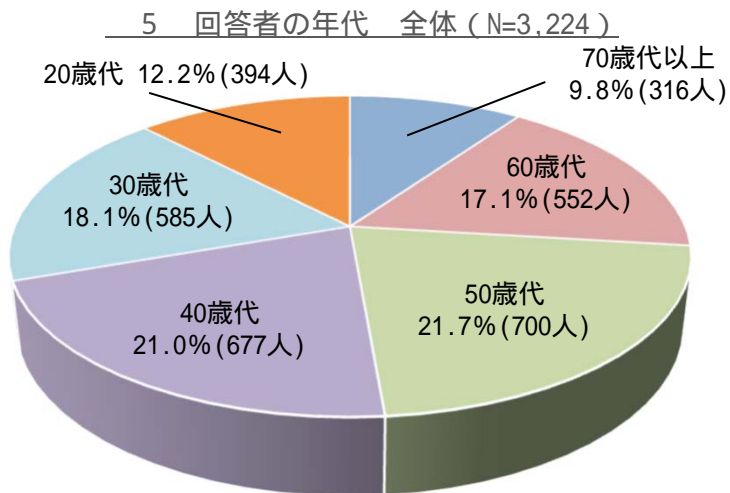


4 保健医療圏域別 女性（N=2,053）

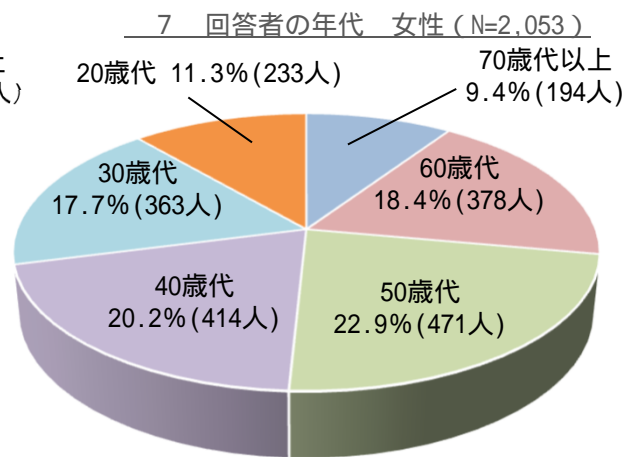
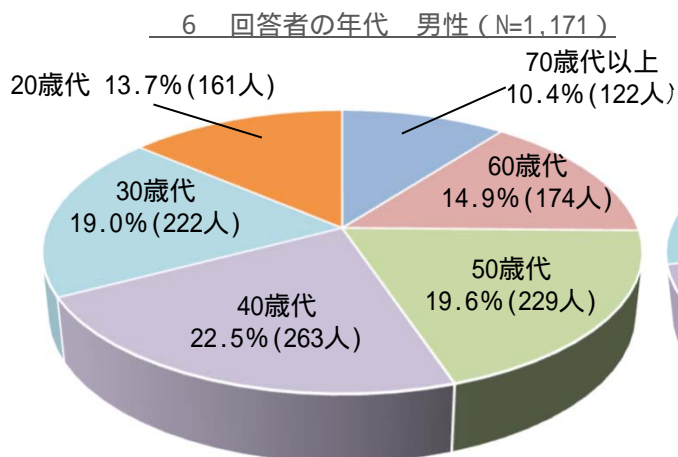


(2) 回答者の年代

《 全体 》



《 性別 》



2 がん検診の受診状況等

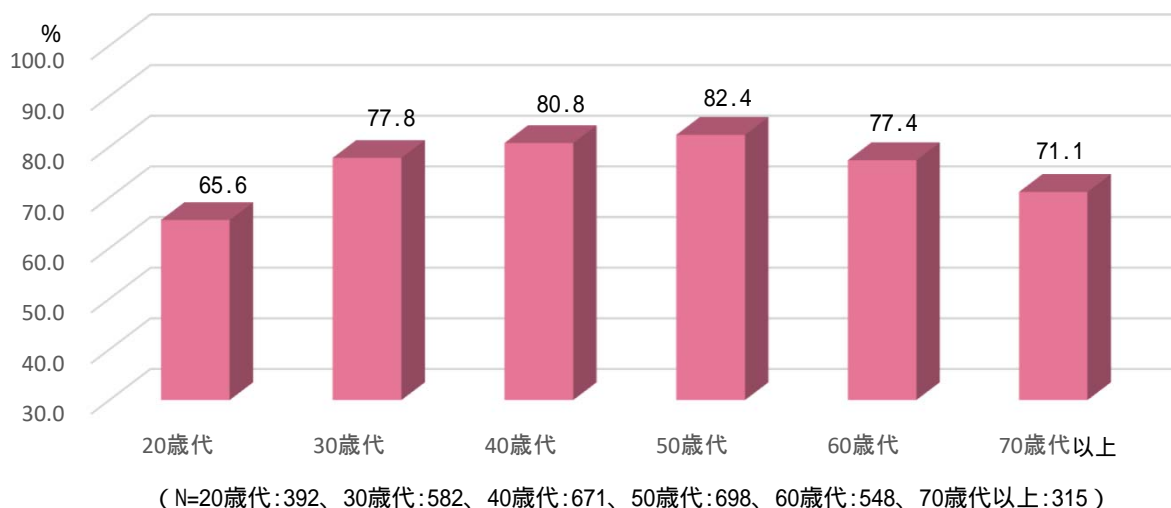
(1) 健康診断等の受診状況(設問への未回答者は除いている)

問) 過去1年間に、健康診断、健康診査及び人間ドックを受けたことがありますか。

《 全体 》

健康診断等の受診者数の割合は年代とともに増加し、50歳代の82.4%をピークに以降年代とともに減少している。

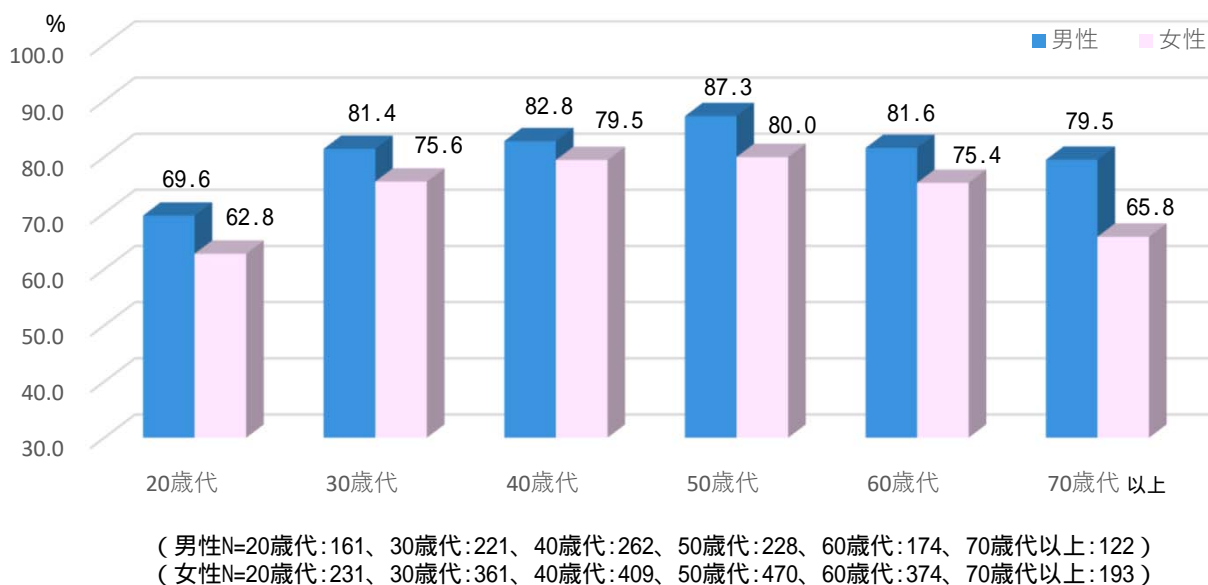
8 健康診断等の受診状況(全体)



《 性別 》

性別で比較すると、各年代とも男性の方が受診率が高く、その差は3.3(40歳代)~13.7ポイント(70歳代)となっている。

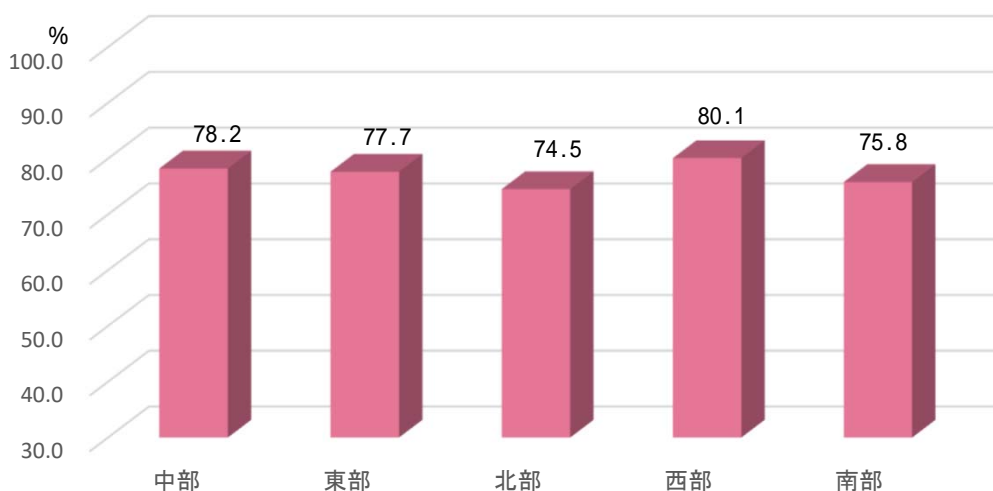
9 健康診断等の受診状況(性別)



◀ 圏域別 ▶

保健医療圏域（以下「圏域」という。）別(全体)では、西部圏域が80.1%と最も高く、順に中部78.2%、東部77.7%、南部75.8%、北部74.5%の順となっている。

10 健康診断等の受診状況（圏域別）

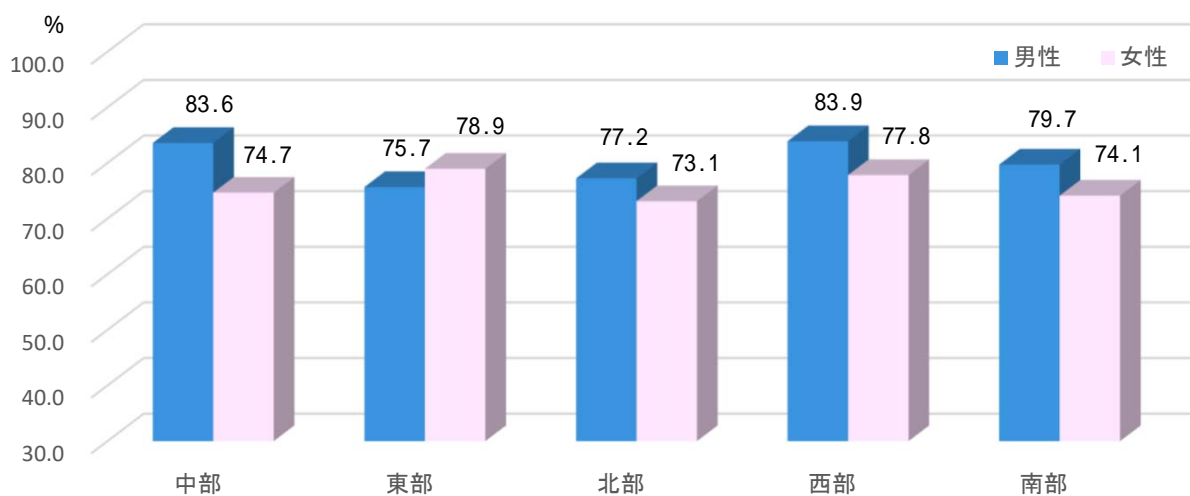


(N=中部:1,250、東部:282、北部:589、西部:382、南部:703)

◀ 圏域別・性別 ▶

圏域別ごとの性別では、西部圏域の男性が83.9%と最も高く、一方北部圏域の女性が73.1%と最も低かった。圏域ごとの男女比較で見ると東部圏域以外は男性の方が受診率が高くなっており、その男女差は中部圏域が8.9ポイントと最も高くなって

11 健康診断等の受診状況（圏域別・性別）



(男性N=中部:500、東部:111、北部:202、西部:143、南部:212)
 (女性N=中部:750、東部:171、北部:387、西部:239、南部:491)

(2) がん検診の受診状況(設問への未回答者は除いている)

問) あなたは、(過去1年間に)肺がん、大腸がん、(過去2年間に)胃がん、子宮がん、乳がんの検診を受けましたか。

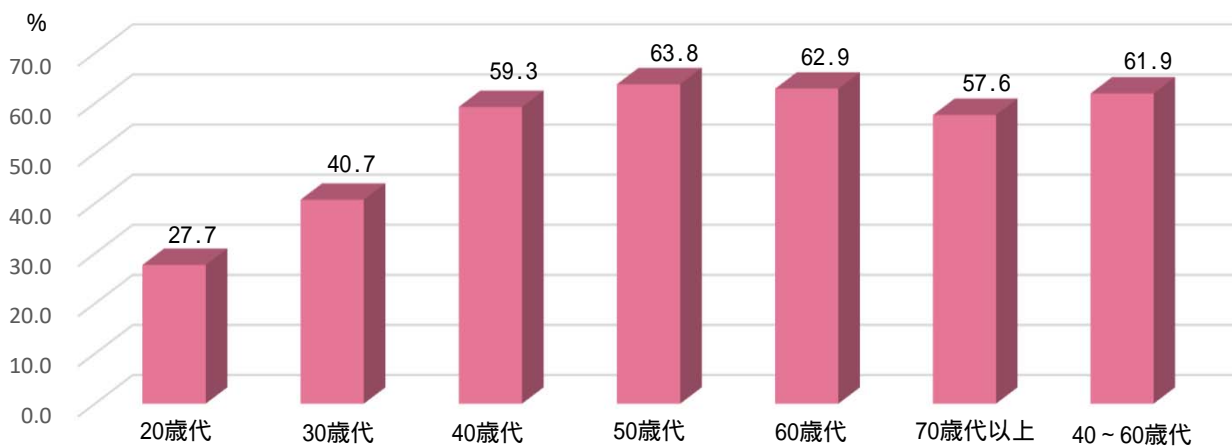
【肺がん】

《 全体 》

肺がん検診の受診率は、40歳代から50%を超え、50歳代、60歳代では60%を超えた。

第3次佐賀県がん対策推進計画(以下「推進計画」という。)に掲げる肺がん検診受診率(40~60歳代)の目標50%に対して、40~60歳代の受診率は61.9%と11.9ポイント高くなっている。

12 肺がん検診受診率(全体)



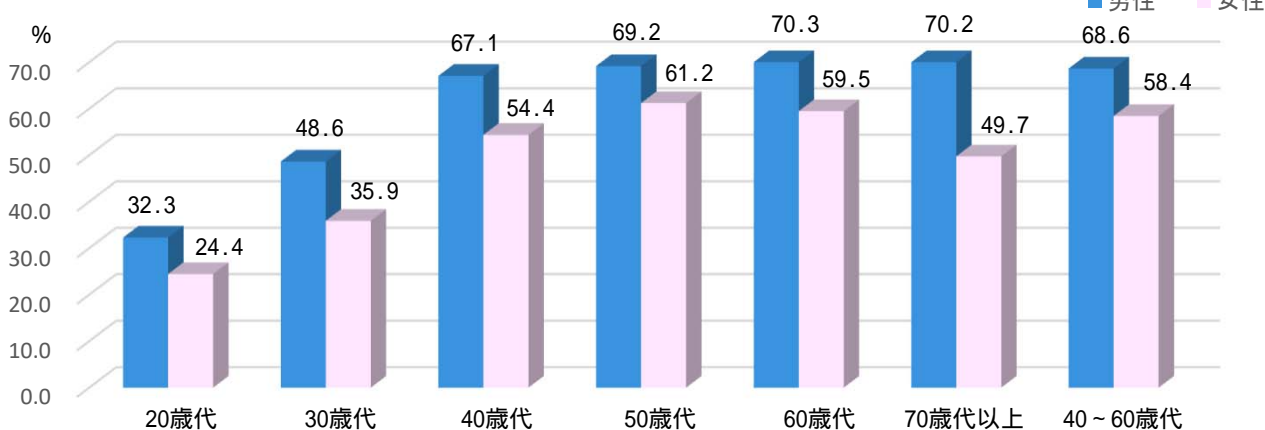
(N=20歳代:379、30歳代:572、40歳代:670、50歳代:696、60歳代:547、70歳代以上:314、40~60歳代:1,913)

《 性別 》

性別で比較すると、各年代とも男性の方が受診率が高くなっており、その差は7.9(20歳代)~20.5(70歳代以上)ポイントとなっている。健康診断等受診率の差3.3~13.7ポイントと比較すると、さらに差は大きくなっている。

推進計画の目標の対象となっている40歳代、50歳代、60歳代を見ると、すべての年代で男女とも目標の50%を超えているものの、男性の方が40歳代では12.7ポイント、50歳代は8.0ポイント、60歳代は10.8ポイント高くなっている。

13 肺がん検診受診率(性別)



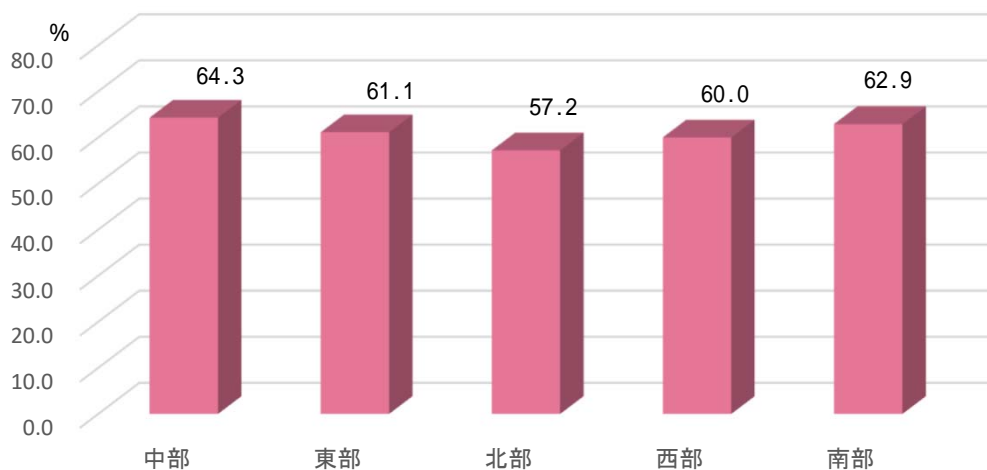
(男性N=20歳代:158、30歳代:218、40歳代:258、50歳代:227、60歳代:172、70歳代以上:121、40~60歳代:657)
 (女性N=20歳代:221、30歳代:354、40歳代:412、50歳代:469、60歳代:375、70歳代以上:193、40~60歳代:1,256)

◀ 圏域別（40～60歳代） ▶

圏域別（40～60歳代）に見ると、すべての圏域で50%を超えており、中部圏域が64.3%と最も高く、順に南部62.9%、東部61.1%、西部60.0%、北部57.2となっている。

受診率が最も高い中部圏域と最も低い北部圏域の差は、7.1ポイントとなっている。

14 肺がん検診受診率（圏域別 40～60歳代）



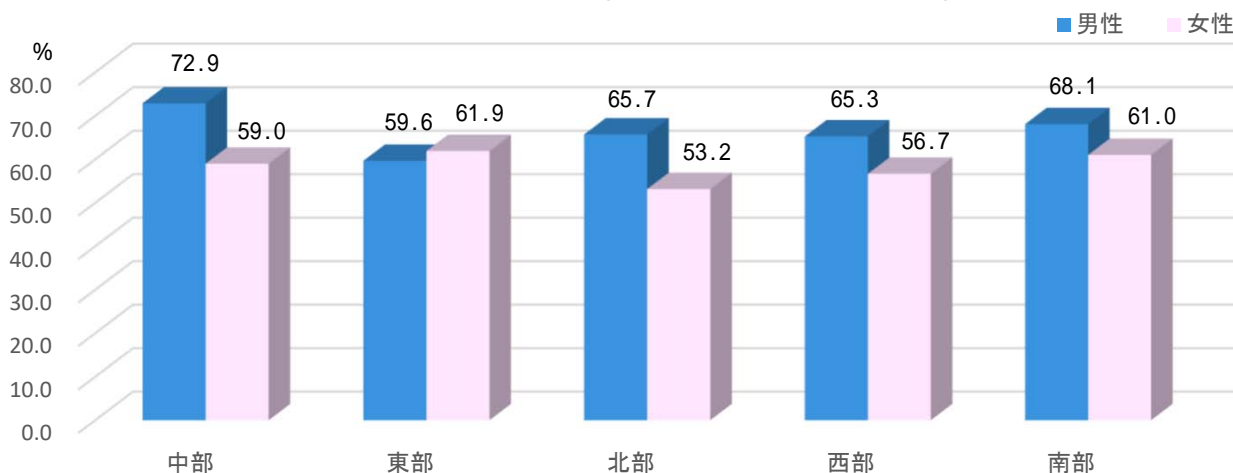
(N=中部:745、東部:162、北部:327、西部:245、南部:434)

◀ 圏域別・性別（40～60歳代） ▶

圏域別・性別（40～60歳代）に見ると、健康診断等受診率と同様に東部圏域のみ女性の受診率が上回り、その他の圏域では男性が上回った。

中部圏域の男女差が13.9ポイントと一番開きが大きく、順に北部12.5ポイント、西部8.6ポイント、南部7.1ポイント、東部2.3ポイントとなっている。

15 肺がん検診受診率（圏域別・性別 40～60歳代）



(男性 N=中部:284、東部:57、北部:105、西部:95、南部:116)

(女性 N=中部:461、東部:105、北部:222、西部:150、南部:318)

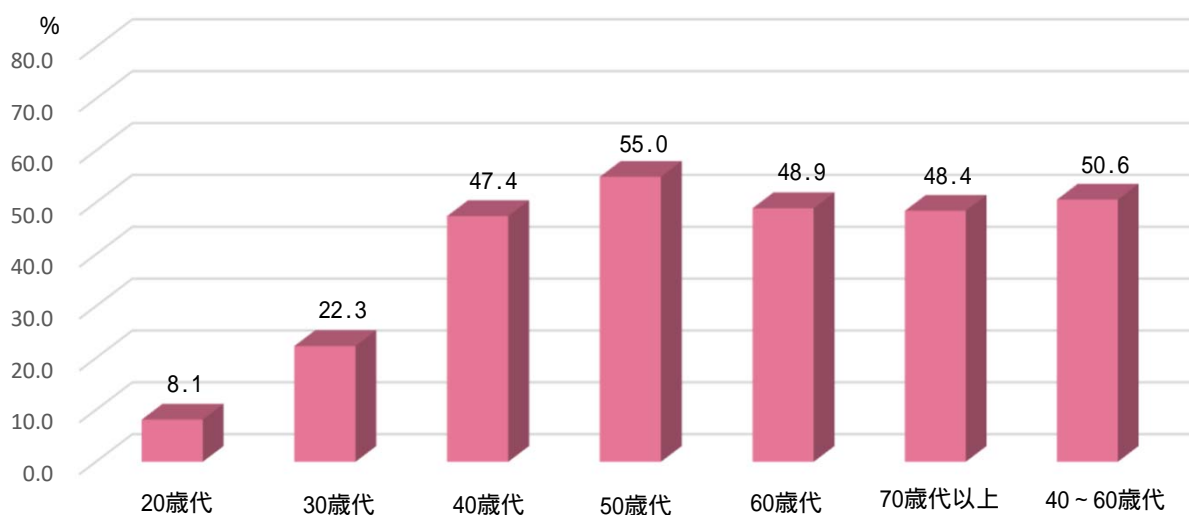
【大腸がん】

≪ 全体 ≫

大腸がん検診の受診率は、50歳代で55.0%と50%を超えたものの、その他の年代では50%を下回った。

推進計画に掲げる大腸がん検診受診率（40～60歳代）の目標50%に対して、40～60歳代の受診率は50.6%となっている。

16 大腸がん検診受診率（全体）



(N=20歳代:381、30歳代:573、40歳代:671、50歳代:695、60歳代:548、70歳代以上:316、40～60歳代:1,914)

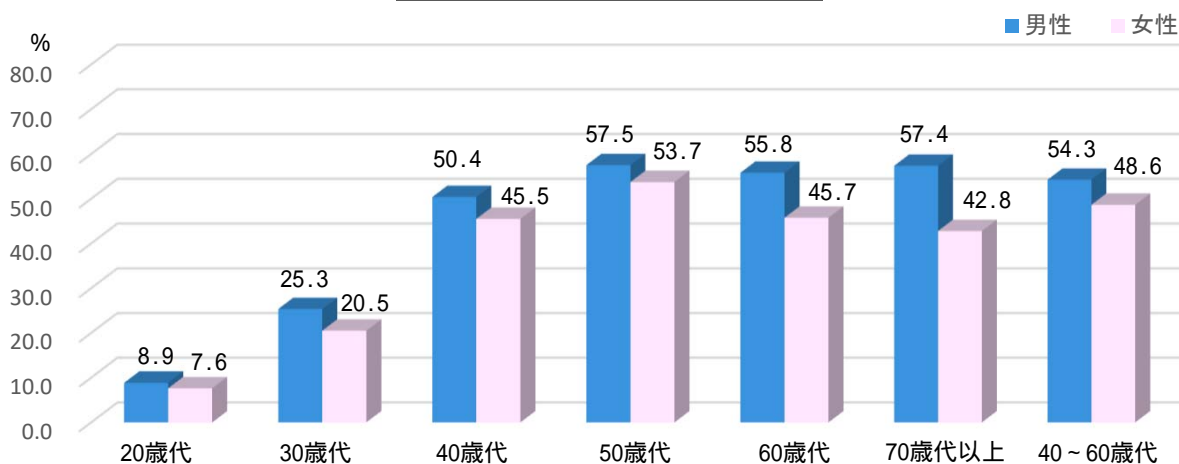
≪ 性別 ≫

性別で比較すると、各年代とも男性の方が1.3（20歳代）～14.6（70歳代）ポイント受診率が高くなっている。

また、推進計画の目標の対象となっている40歳代、50歳代、60歳代を見ると、男性はすべての年代で50%を超えているが、女性は50歳代のみ50%を超えたものの、40歳、60歳代は50%に満たなかった。

40～60歳代では、男性が54.3%、女性が48.6%となっており、5.7ポイントの差となっている。

17 大腸がん検診受診率（性別）



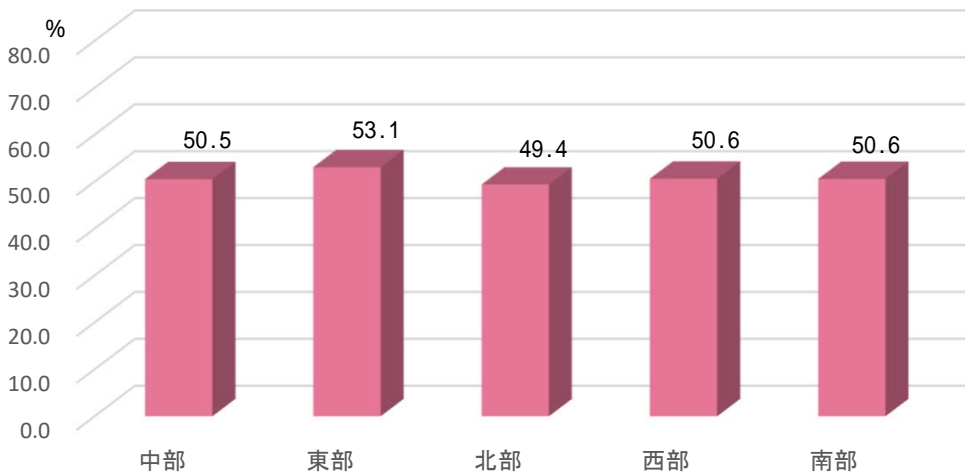
(男性N=20歳代:158、30歳代:217、40歳代:260、50歳代:226、60歳代:172、70歳代以上:122、40～60歳代:658)
 (女性N=20歳代:223、30歳代:356、40歳代:411、50歳代:469、60歳代:376、70歳代以上:194、40～60歳代:1,256)

◀ 圏域別（40～60歳代） ▶

圏域別（40～60歳代）に見ると、中部、北部、西部、南部の4圏域では受診率が50.0%を上回り、北部圏域のみ下回ったが、各圏域ごとにおいて大きな差はみられなかった。

東部圏域が53.1%と最も高く、西部、南部がともに50.6%と続き、中部50.5%、北部49.4%の順となっている。

18 大腸がん検診受診率（圏域別 40～60歳代）



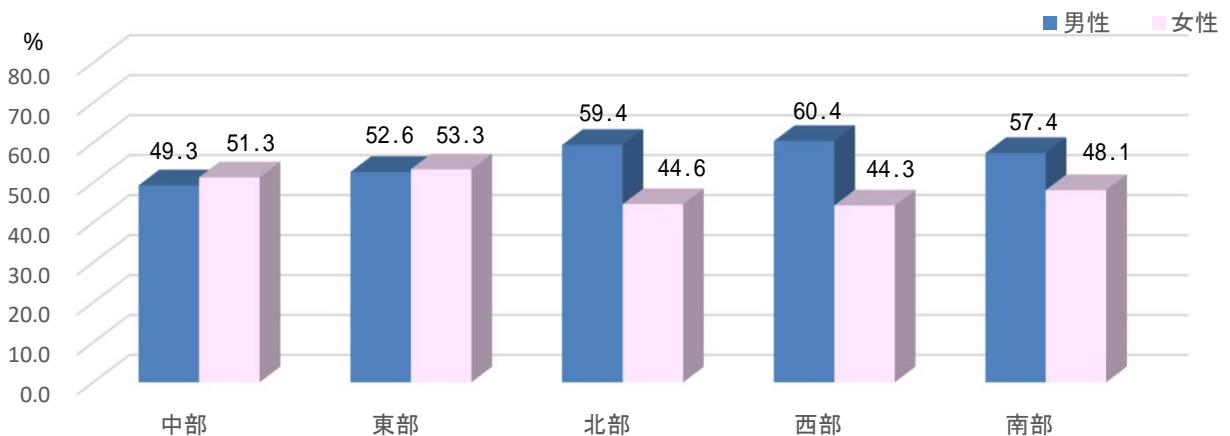
(N=中部:744、東部:162、北部:328、西部:245、南部:435)

◀ 圏域別・性別（40～60歳代） ▶

圏域別・性別（40～60歳代）に見ると、受診率は中部と東部圏域では男女の差はほとんどなかったが、北部、西部、南部圏域では女性が男性を大きく下回った。

男女の差は、男性が女性を上回った西部圏域が16.1ポイント、北部が14.8ポイント、南部が9.3ポイントとなっており、女性が上回った中部圏域が2.0ポイント、東部が0.7ポイントとなっている。

19 大腸がん検診受診率（圏域別・性別 40～60歳代）



(男性 N=中部:284、東部:57、北部:106、西部:96、南部:115)
 (女性 N=中部:460、東部:105、北部:222、西部:149、南部:320)

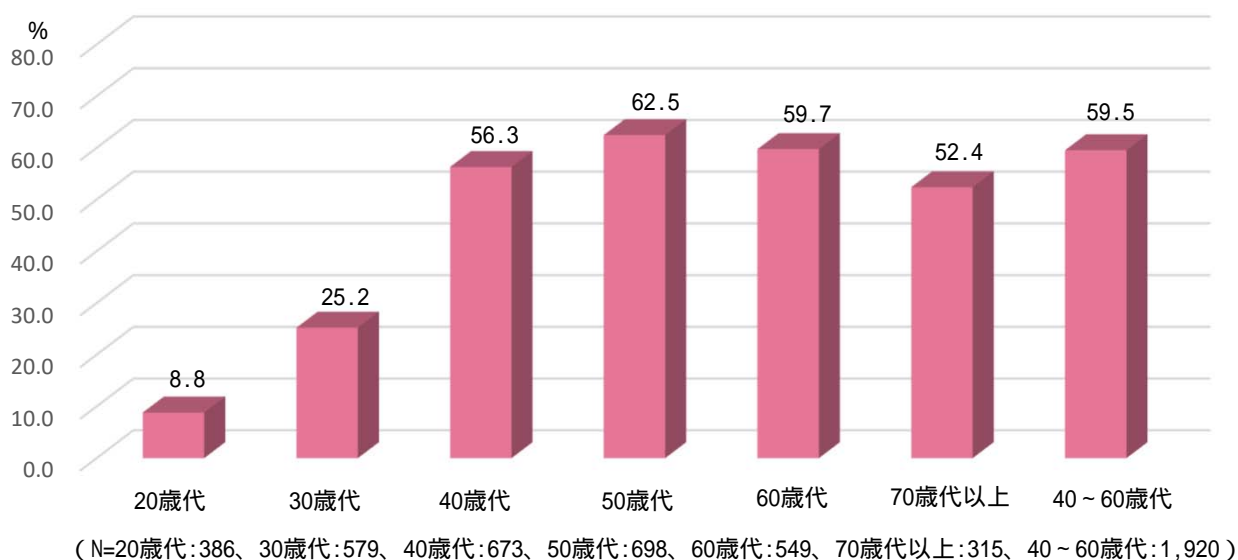
【胃がん】

《 全体 》

胃がん検診の受診率は、40歳代から70歳代以上まで50%を超え、50歳代では62.5%となっている。

推進計画に掲げる胃がん検診受診率（40～60歳代）の目標50%に対して、40～60歳代の受診率は59.5%と9.5ポイント高くなっている。

20 胃がん検診受診率（全体）

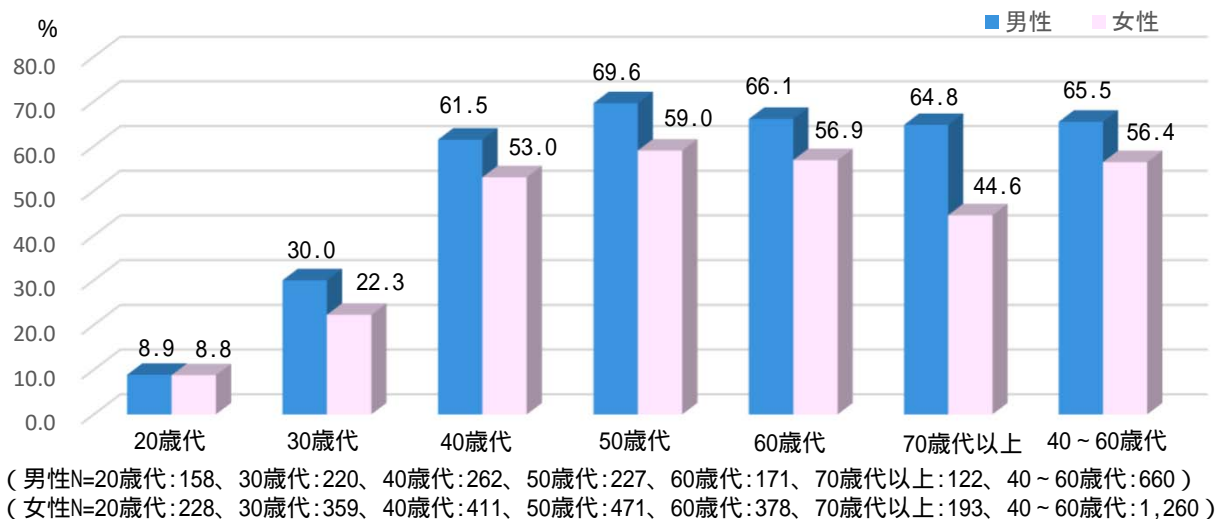


《 性別 》

性別で比較すると、各年代とも男性の方が0.1（20歳代）～20.2（70歳代）ポイント受診率が高くなっている。

また、推進計画の目標の対象となっている40～60歳代を見ると、すべての年代で男女とも目標の50%を超えているものの、男性の方が40歳代で8.5ポイント、50歳代で10.6ポイント、60歳代で9.2ポイント高くなっている。

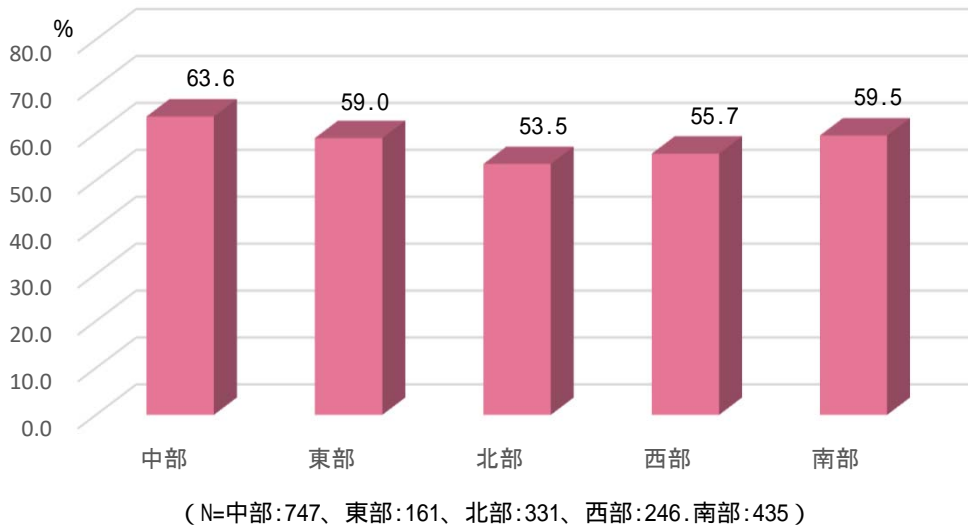
21 胃がん検診受診率（性別）



◀ 圏域別（40～60歳代） ▶

圏域別（40～60歳代）に見ると、全圏域で受診率が50.0%を上回り、中部の63.6%が最も高く、順に南部59.5%、東部59.0%、西部55.7%、北部53.5%となっている。

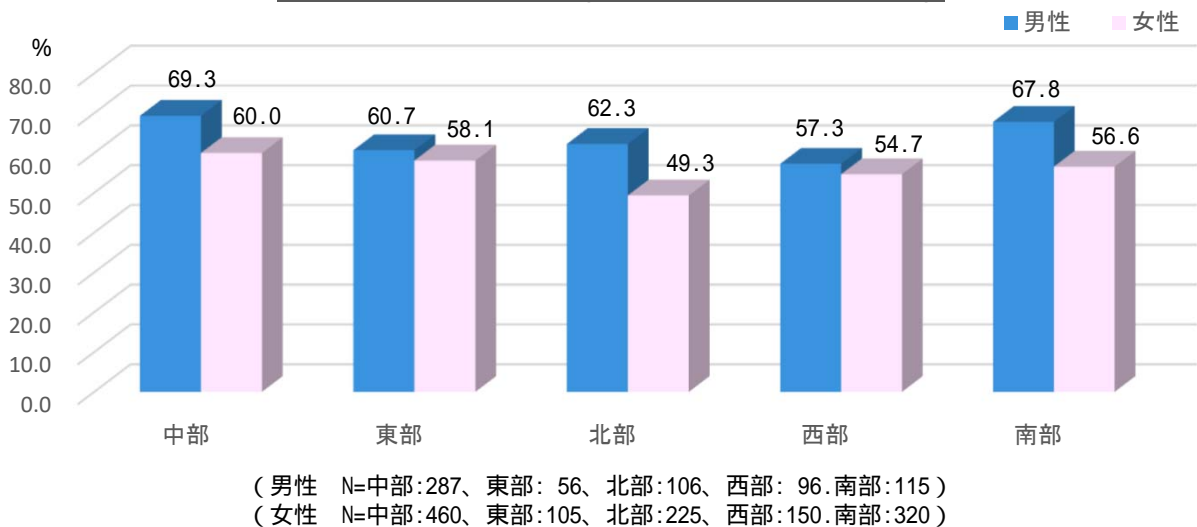
22 胃がん検診受診率（圏域別 40～60歳代）



◀ 圏域別・性別（40～60歳代） ▶

圏域別・性別（40～60歳代）に見ると、受診率はいずれの圏域でも男性が女性を上回った。特に北部圏域は13.0ポイントの差となり、続いて南部11.2ポイント、中部9.3ポイント、東部、西部が2.6ポイントとなっている。

23 胃がん検診受診率（圏域別・性別 40～60歳代）



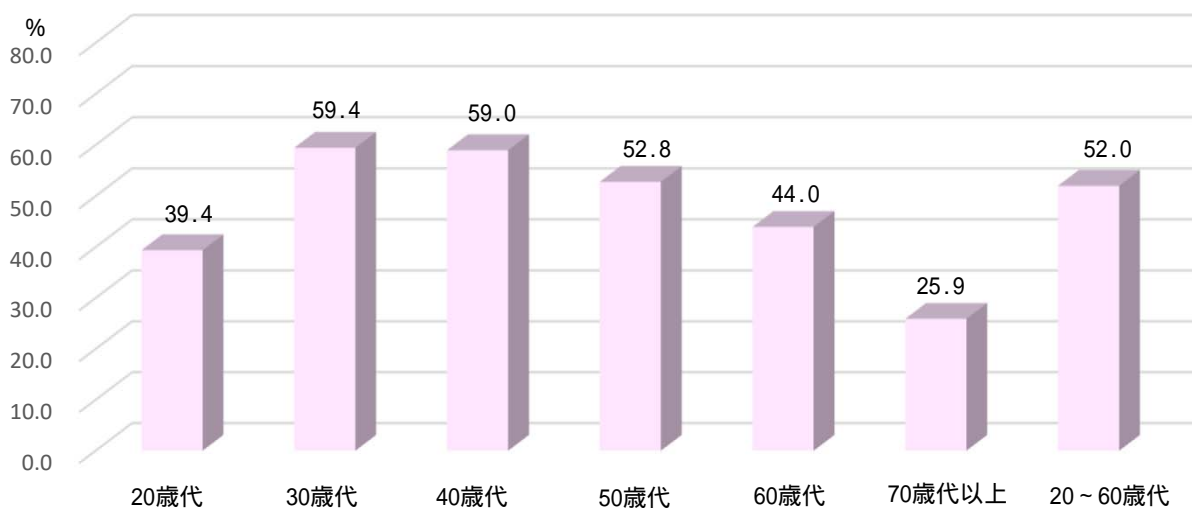
【子宮がん】

《 全体 》

子宮がん検診の受診率は、30歳代が59.4%と最も高く、順に40歳代59.0%、50歳代52.8%、60歳代44.0%と続いている。

推進計画に掲げる子宮がん検診受診率（20～60歳代）の目標50%に対して、20～60歳代の受診率は52.0%と2.0ポイント高くなっている。

24 子宮がん検診受診率（全体）



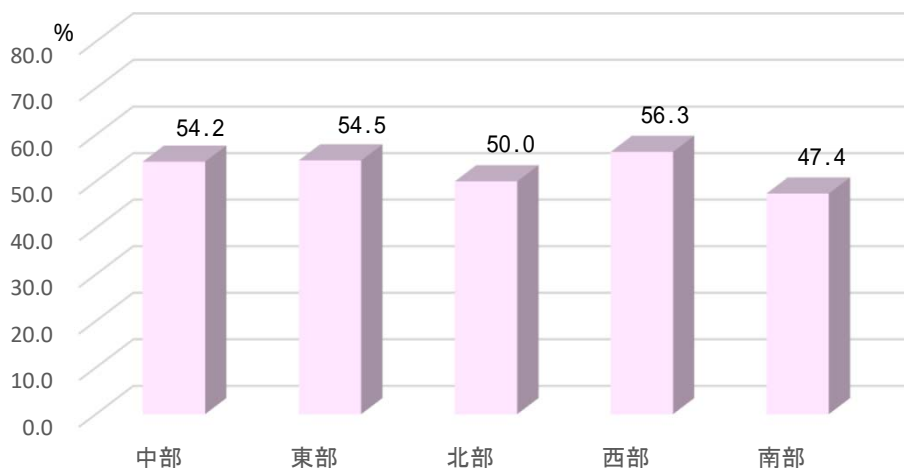
(N=20歳代:231、30歳代:360、40歳代:407、50歳代:466、60歳代:364、70歳代以上:189、20～60歳代:1,828)

《 圏域別（20～60歳代） 》

圏域別（20～60歳代）に見ると、西部圏域が56.3%と最も高く、順に東部54.5%、中部54.2%、北部50.0%、南部圏域47.4%となっている。

受診率が最も高い西部圏域と最も低い南部圏域との差は、8.9ポイントとなっている。

25 子宮がん検診受診率（圏域別 20～60歳代）



(N=中部:673、東部:145、北部:356、西部:213、南部:441)

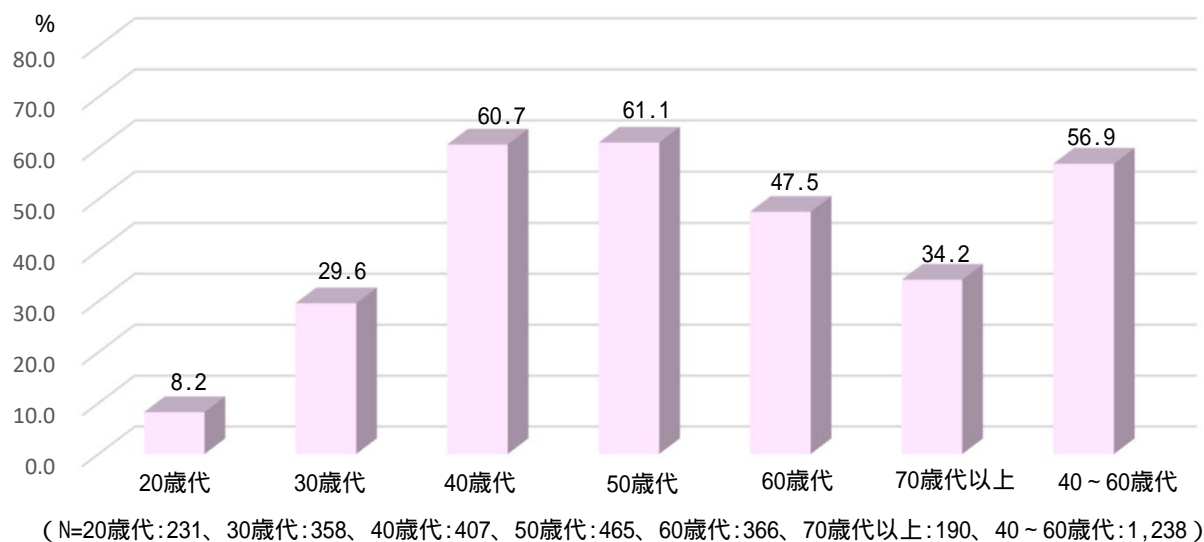
【乳がん】

《 全体 》

乳がん検診の受診率は、50歳代が61.1%と最も高く、順に40歳代60.7%、60歳代47.5%、30歳代29.6%と続いている。

推進計画に掲げる乳がん検診受診率（40～60歳代）の目標50%に対して、40～60歳代の受診率は56.9%と6.9ポイント高くなっている。

26 乳がん検診受診率（全体）

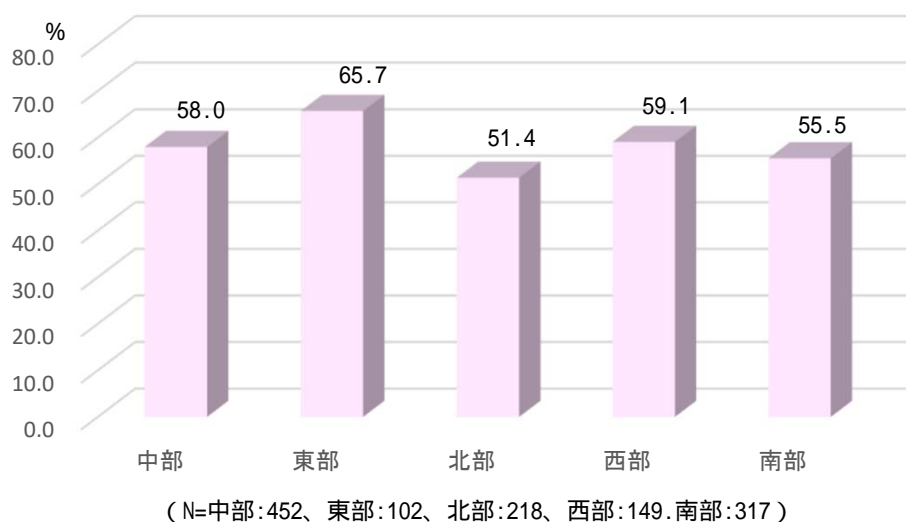


《 圏域別（40～60歳代） 》

圏域別（40～60歳代）に見ると、東部圏域が65.7%と最も高く、順に西部59.1%、中部58.0%、南部55.5%、北部51.4%となっている。

受診率が最も高い西部圏域と最も低い北部圏域との差は、14.3ポイントとなっている。

27 乳がん検診受診率（圏域別 40～60歳代）

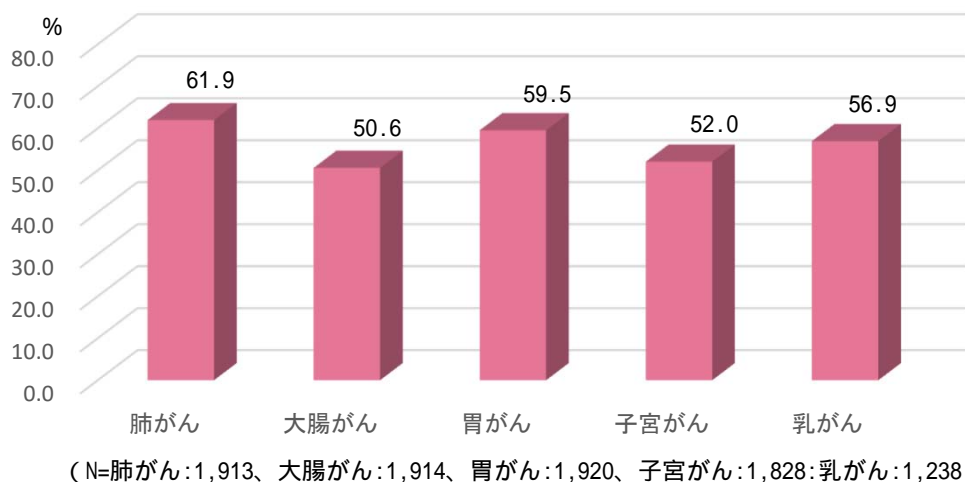


【40～60歳代：肺・大腸・胃・子宮（20～60歳代）・乳がん】

≪ 全体 ≫

推進計画に掲げる目標の対象年代（40～60歳代（※子宮がんは20～60歳代））で、部位別（肺、大腸、胃、子宮、乳）にがん検診受診率を比較してみると、肺がん検診が61.9%と最も高く、胃がん59.5%、乳がん56.9%、子宮がん52.0%と続き、大腸がんが50.6%と最も低かった。

28 肺、大腸、胃、子宮、乳がん検診受診率
40(20)～60歳代（全体）

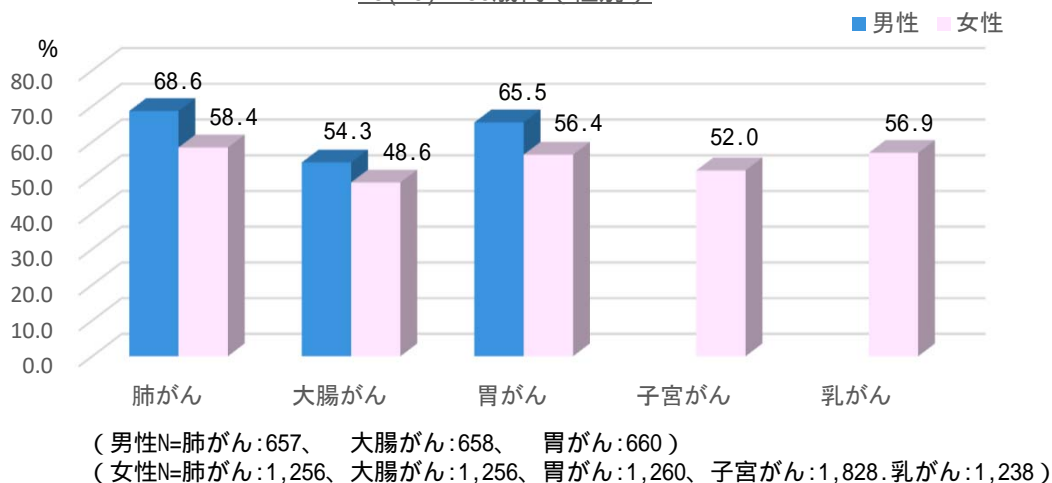


≪ 性別 ≫

肺がん、大腸がん、胃がんの検診受診率を性別で比較してみると、いずれの部位においても受診率は、男性が女性を上回った。

男女の差が大きい順に肺がんが10.2ポイント、胃がんが9.1ポイント、大腸がんが5.7ポイントとなっている。

29 肺、大腸、胃、子宮、乳がん検診受診率
40(20)～60歳代（性別）



【年代別・圏域別のがん検診受診率の傾向】（ 受診率の割合が高いほど濃い色。）

≪ 年代別（男性） ≫

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
肺がん	32.3	48.6	67.1	69.2	70.3	70.2
大腸がん	8.9	25.3	50.4	57.5	55.8	57.4
胃がん	8.9	30.0	61.5	69.6	66.1	64.8

≪ 年代別（女性） ≫

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
肺がん	24.4	35.9	54.4	61.2	59.5	49.7
大腸がん	7.6	20.5	45.5	53.7	45.7	42.8
胃がん	8.8	22.3	53.0	59.0	56.9	44.6
子宮がん	39.4	59.4	59.0	52.8	44.0	25.9
乳がん	8.2	29.6	60.7	61.1	47.5	34.2

≪ 圏域別（男性） ≫

	中部圏域	東部圏域	北部圏域	西部圏域	南部圏域
肺がん	72.9	59.6	65.7	65.3	68.1
大腸がん	49.3	52.6	59.4	60.4	57.4
胃がん	69.3	60.7	62.3	57.3	67.8

≪ 圏域別（女性） ≫

	中部圏域	東部圏域	北部圏域	西部圏域	南部圏域
肺がん	59.0	61.9	53.2	56.7	61.0
大腸がん	51.3	53.3	44.6	44.3	48.1
胃がん	60.0	58.1	49.3	54.7	56.6
子宮がん	54.2	54.5	50.0	56.3	47.4
乳がん	58.0	65.7	51.4	59.1	55.5

(3) がん検診の受診機会

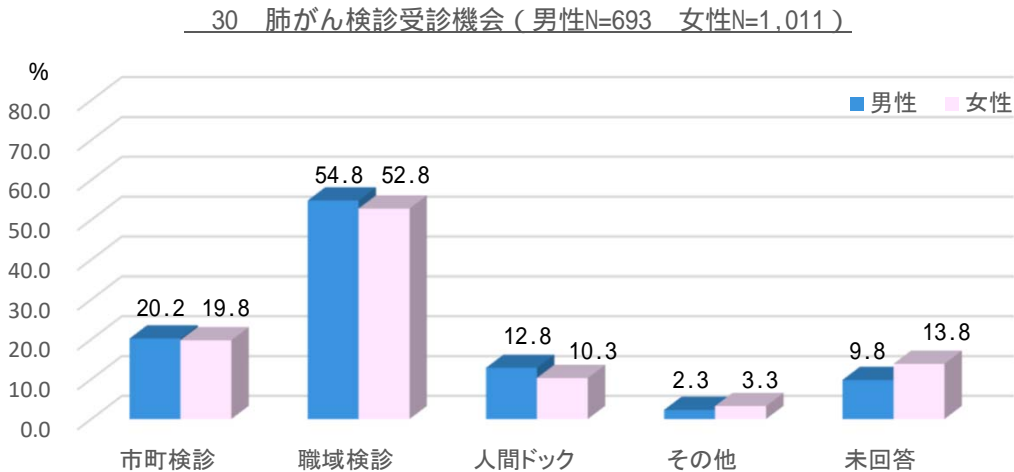
問) どのような機会にがん検診を受診しましたか。(それぞれのがん検診を受けた方への設問)

【肺がん】

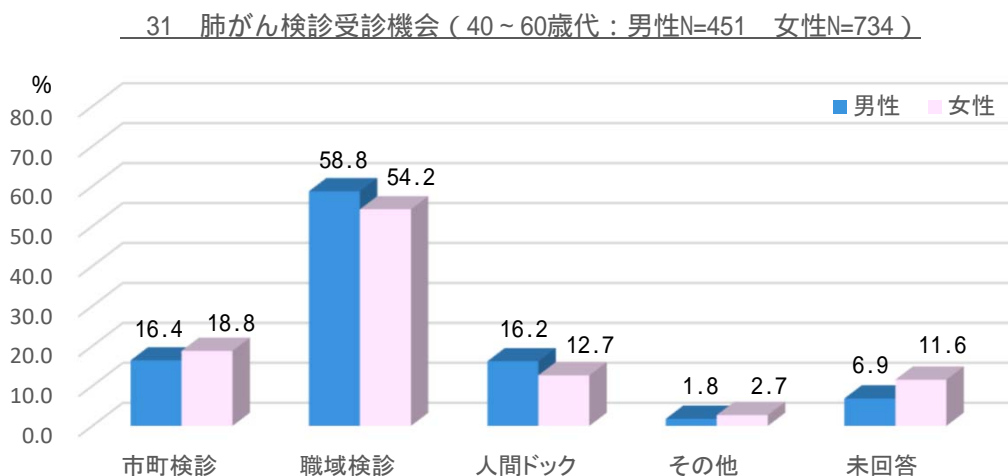
肺がん検診の受診機会は、全体でみると職域検診での割合が、男性54.8%、女性52.8%とともに50%を超えて最も高く、次に市町検診が男性20.2%、女性19.8%であった。

全体としては男女間に大きな差はなかった。圏域別に見ると、職域検診での男性の受診割合が西部圏域で72.6%と高いのが目立った。

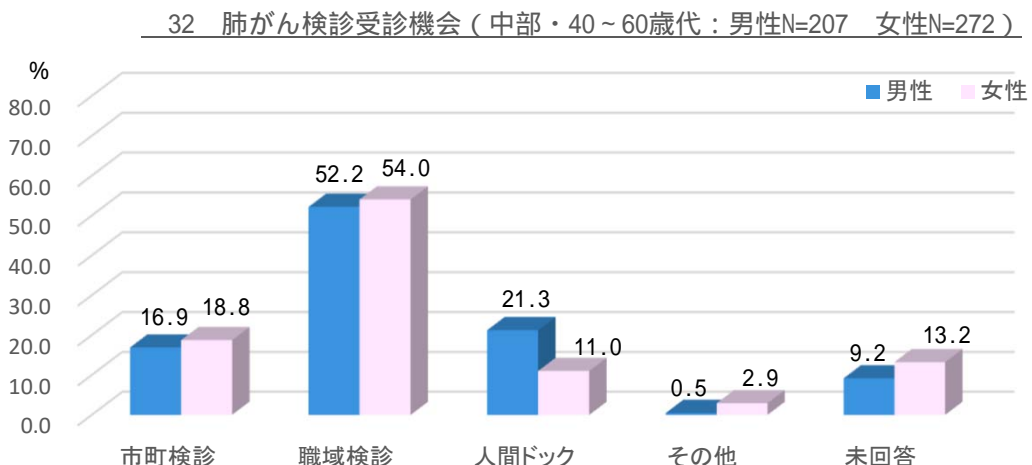
《全体：性別》



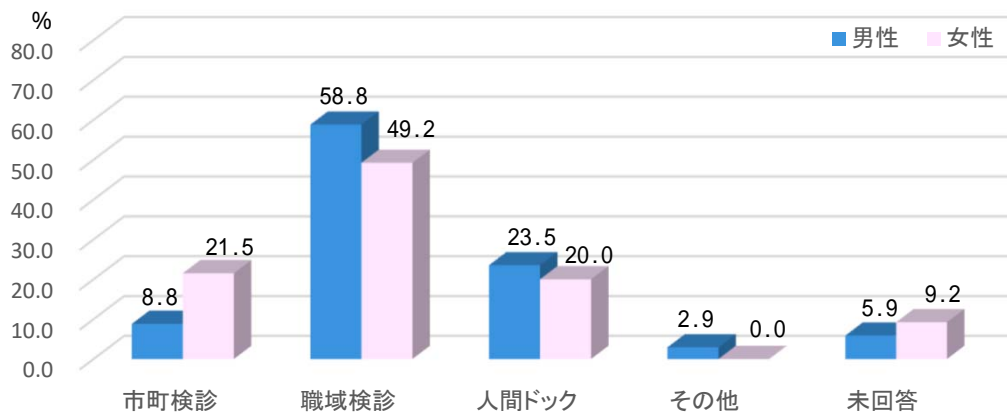
《40～60歳代：性別》



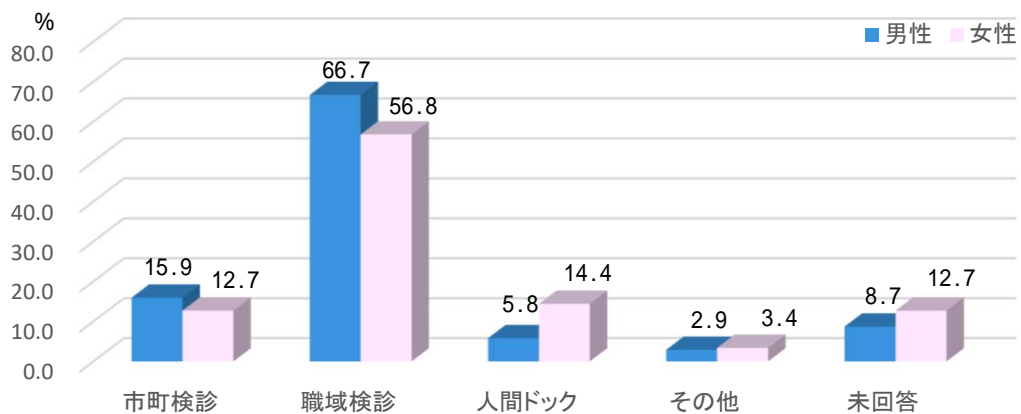
《圏域別・40～60歳代：性別》



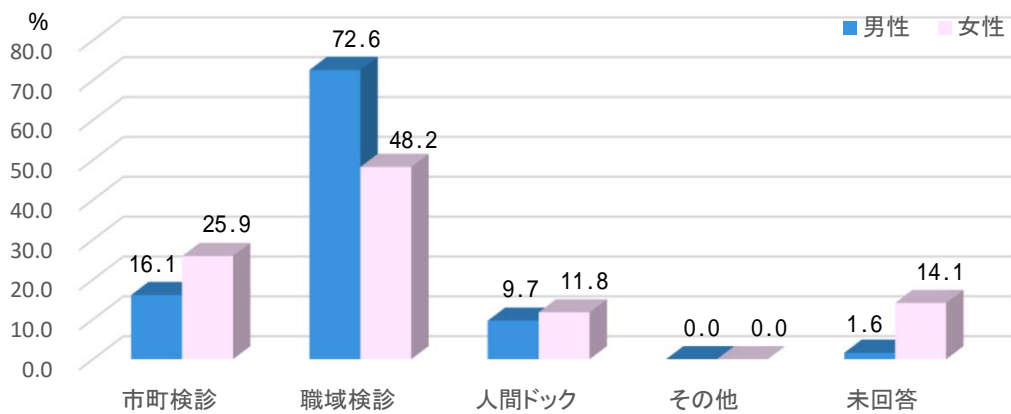
33 肺がん検診受診機会（東部・40～60歳代：男性N=34 女性N=65）



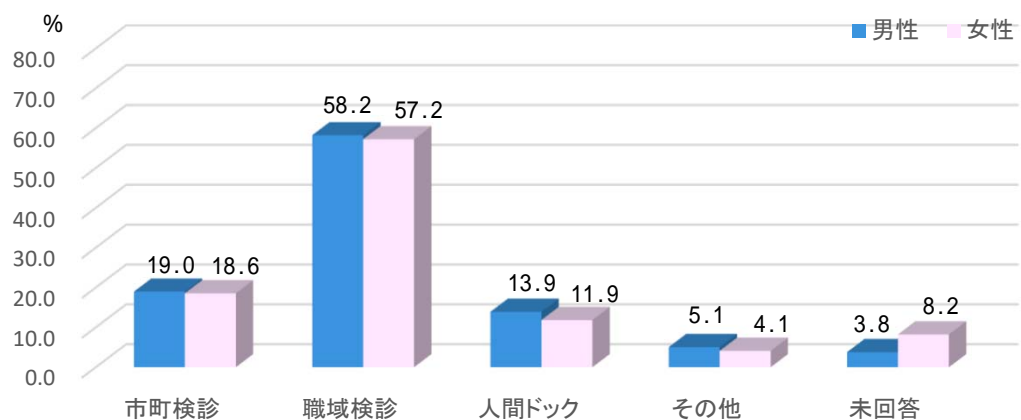
34 肺がん検診受診機会（北部・40～60歳代：男性N=69 女性N=118）



35 肺がん検診受診機会（西部・40～60歳代 男性N=62 女性N=85）



36 肺がん検診受診機会（南部・40～60歳代 男性N=79 女性N=194）

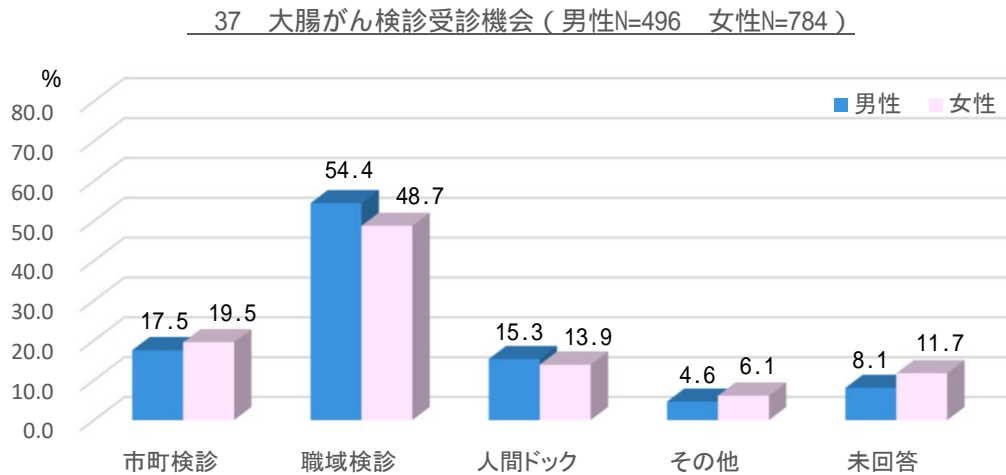


【大腸がん】

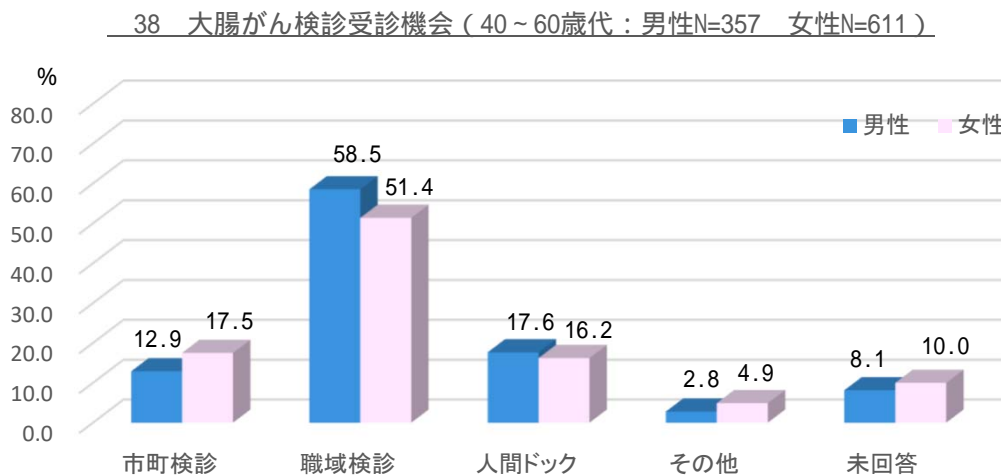
大腸がん検診の受診機会は、全体で見ると職域検診での割合が、男性54.4%、女性48.7%と最も高く、次に市町検診が男性17.5%、女性19.5%であった。

全体としては男女間に大きな差はなかった。圏域別に見ると、職域検診での男性の受診割合が西部圏域で65.5%と高いのが目立った。

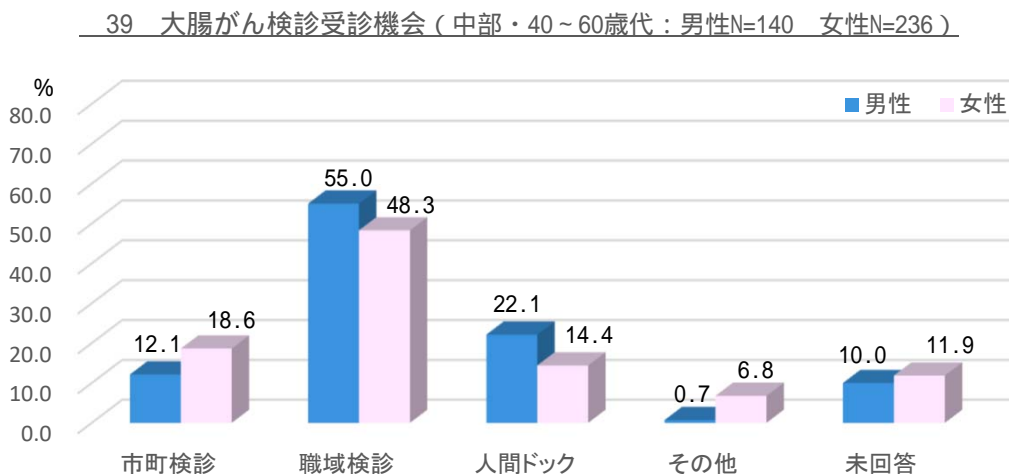
《全体：性別》



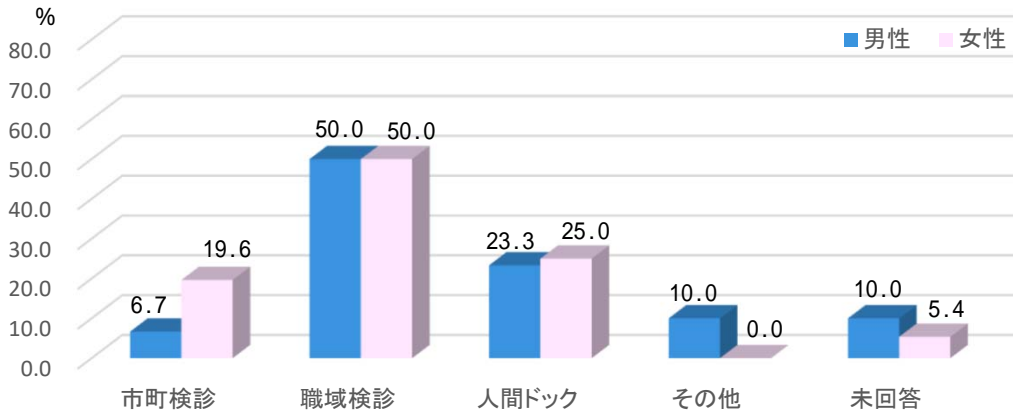
《40～60歳代：性別》



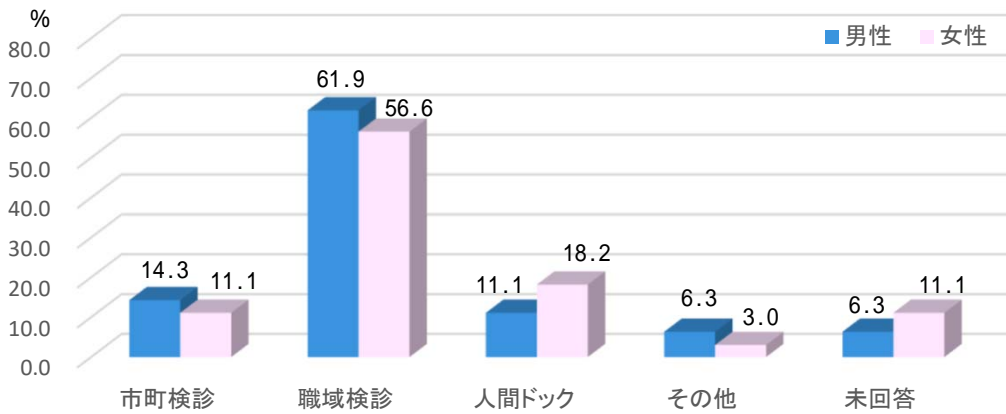
《圏域別・40～60歳代：性別》



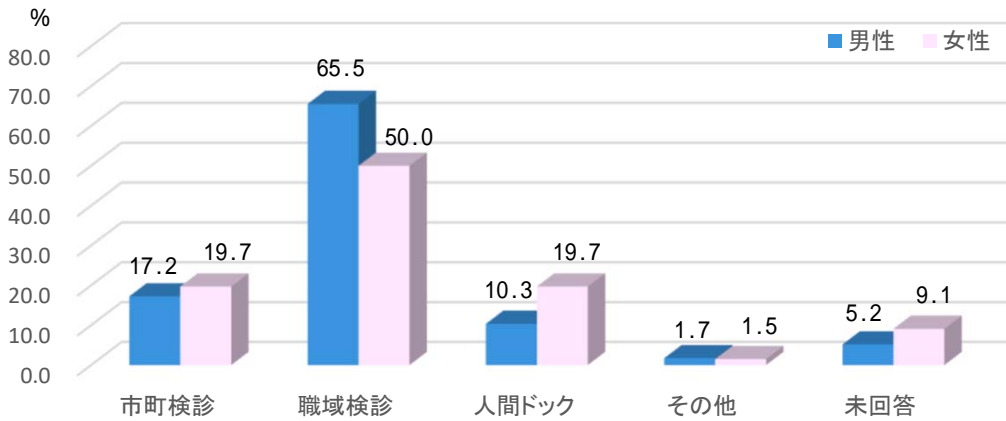
40 大腸がん検診受診機会（東部・40～60歳代：男性N=30 女性N=56）



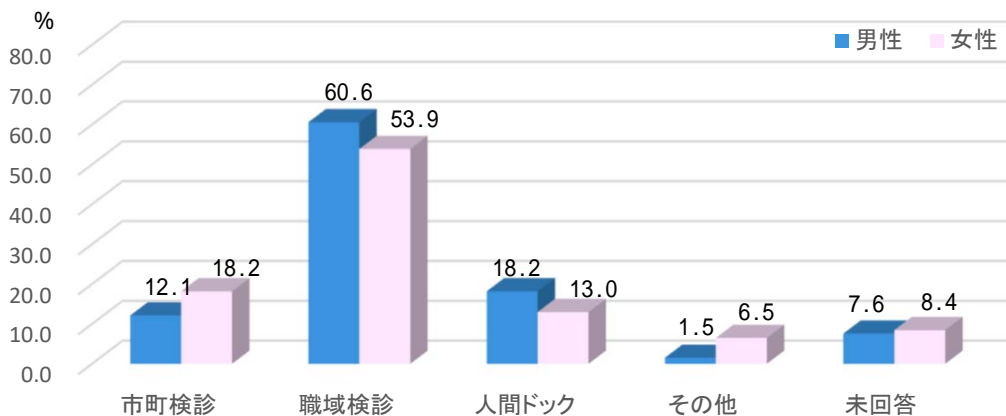
41 大腸がん検診受診機会（北部・40～60歳代：男性N=63 女性N=99）



42 大腸がん検診受診機会（西部・40～60歳代 男性N=58 女性N=66）



43 大腸がん検診受診機会（南部・40～60歳代 男性N=66 女性N=154）

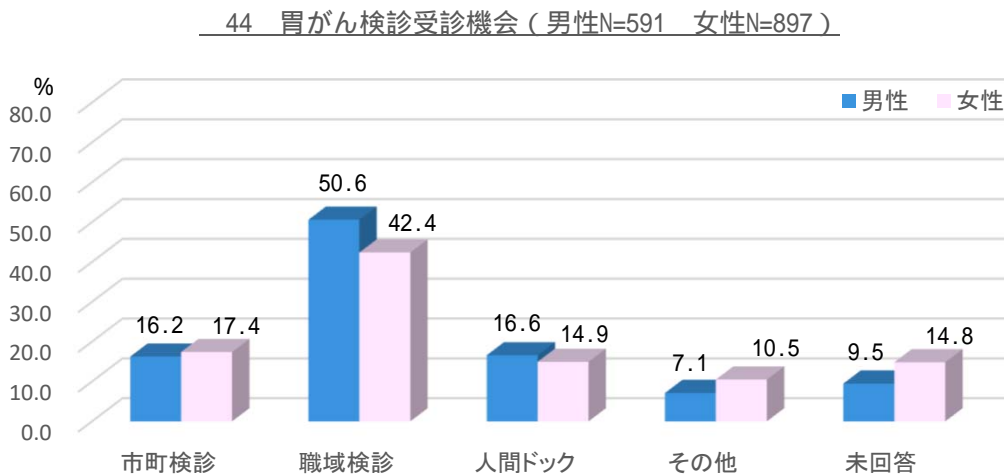


【胃がん】

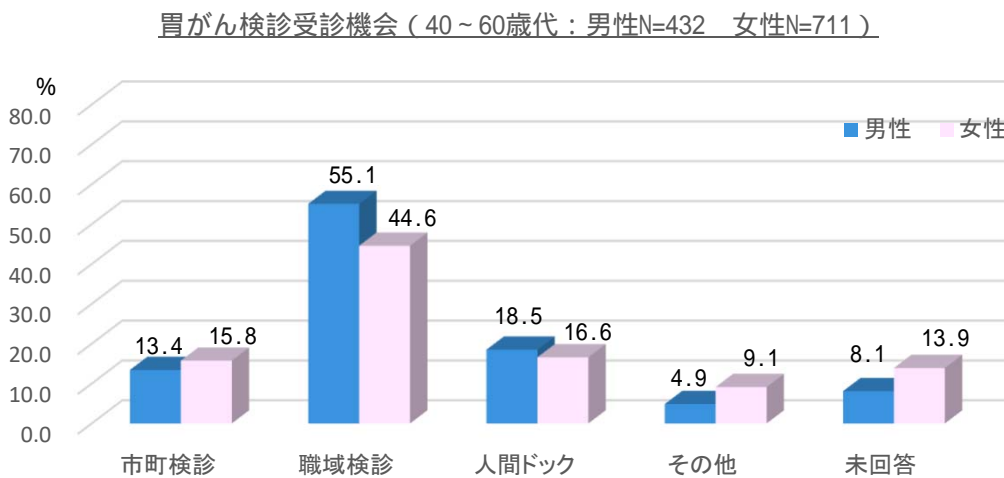
胃がん検診の受診機会は、全体で見ると職域検診での割合が、男性50.6%、女性42.4%と最も高く、次に市町検診が男性16.2%、女性17.4%であった。

全体としては男女間に大きな差はなかった。圏域別に見ると、職域検診での男性の受診割合が西部圏域で70.9%と高いのが目立った。

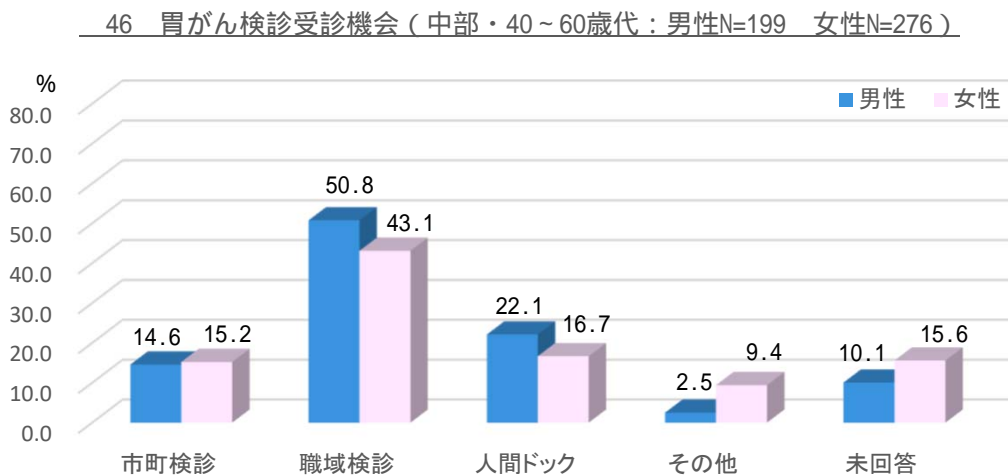
《全体：性別》



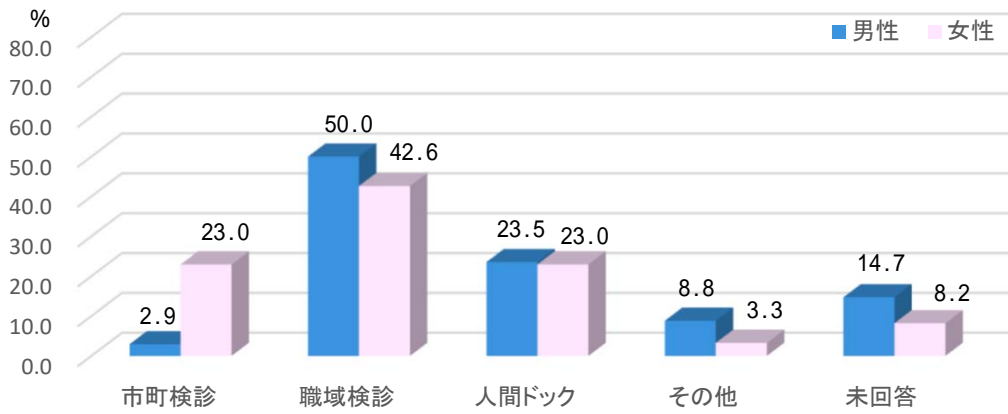
《40～60歳代：性別》



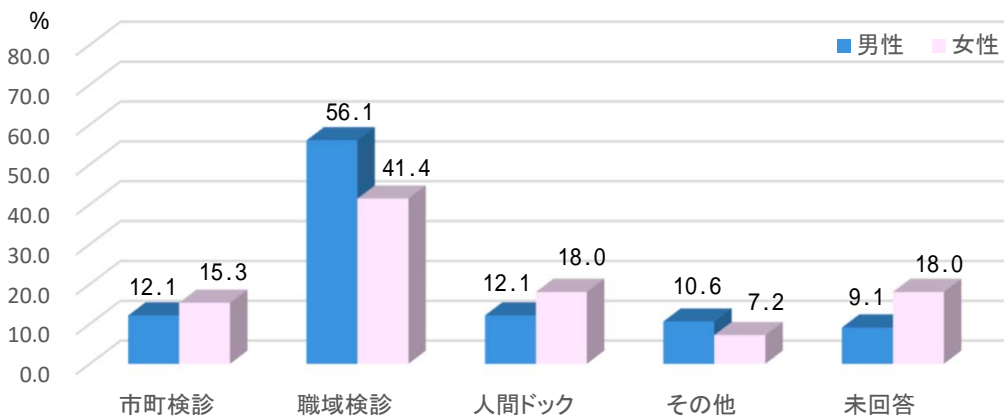
《圏域別・40～60歳代：性別》



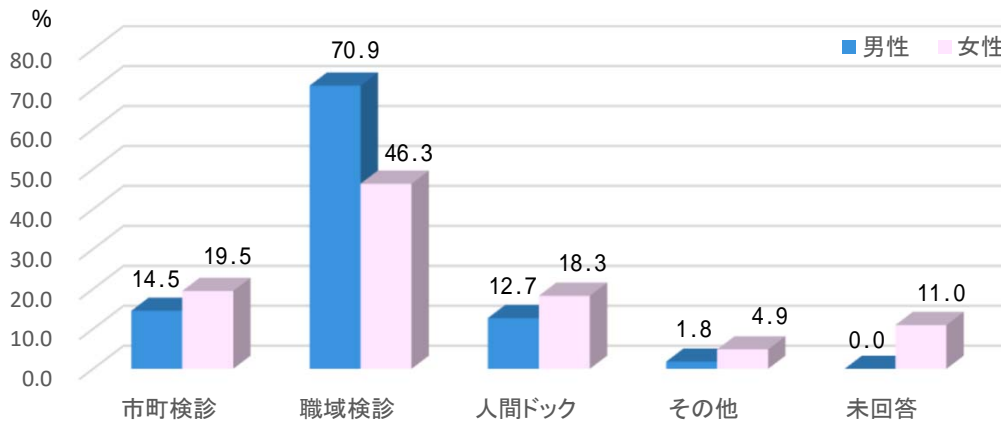
47 胃がん検診受診機会（東部・40～60歳代：男性N=34 女性N=61）



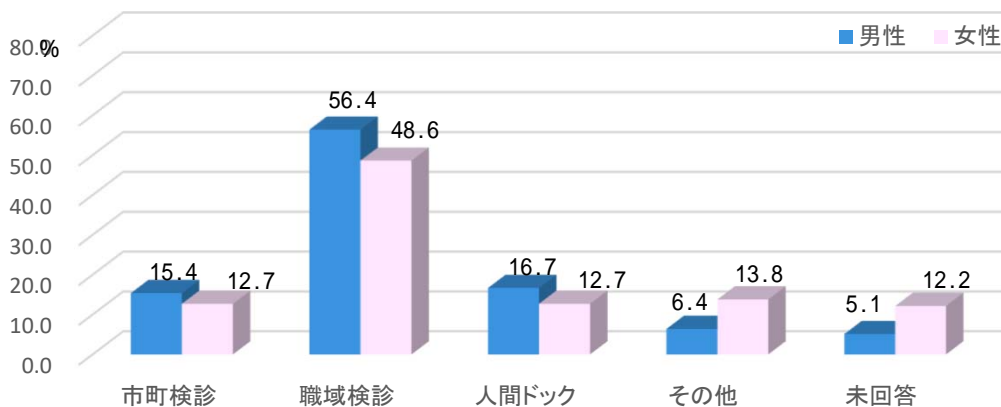
48 胃がん検診受診機会（北部・40～60歳代：男性N=66 女性N=111）



49 胃がん検診受診機会（西部・40～60歳代：男性N=55 女性N=82）



胃がん検診受診機会（南部・40～60歳代：男性N=78女性N=181）

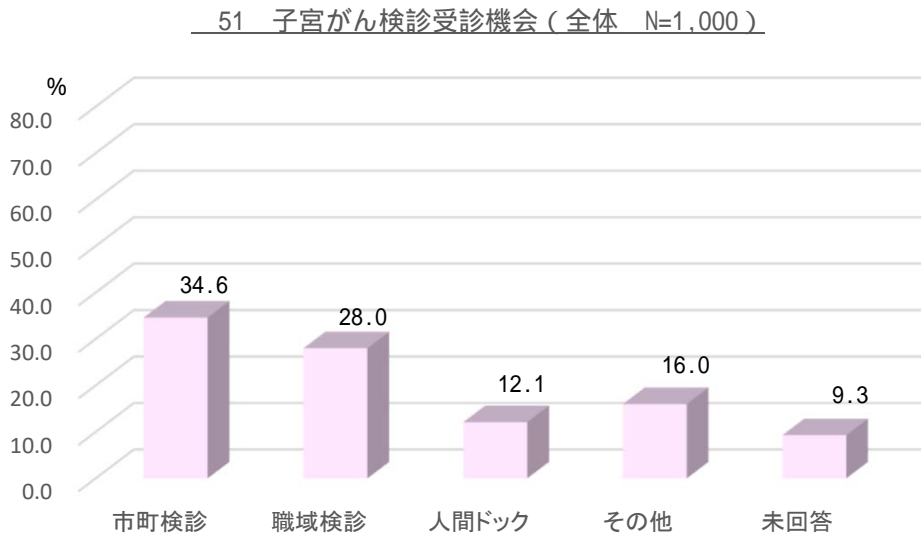


【子宮がん】

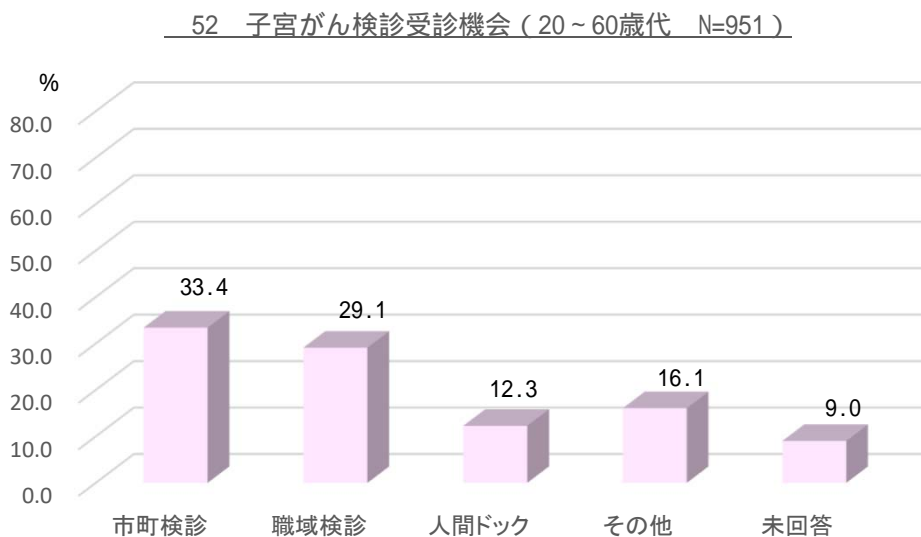
子宮がん検診の受診機会は、全体でみると肺、大腸、胃がん検診とは違って、市町検診が34.6%と最も高く、次に職域検診が28.0%となっている。

圏域別に見ると、市町検診での受診割合が北部圏域で44.9%と高いのが目立った。

《全体》

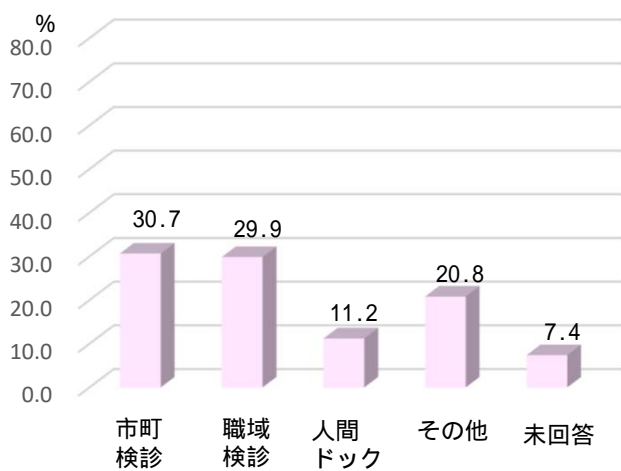


《20～60歳代》

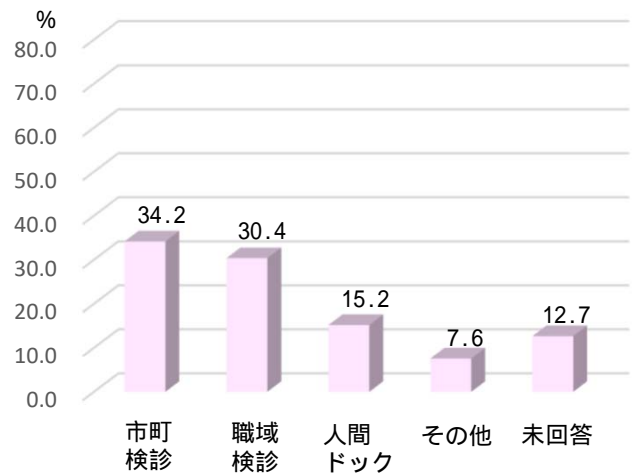


◀圏域別・20～60歳代▶

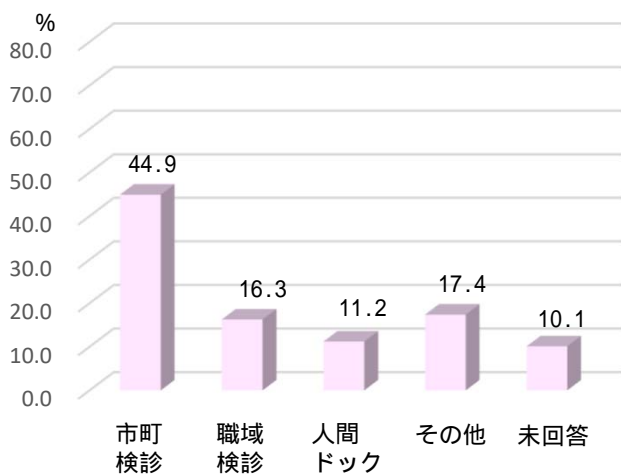
53 子宮がん検診受診機会
(中部・20～60歳代 N=365)



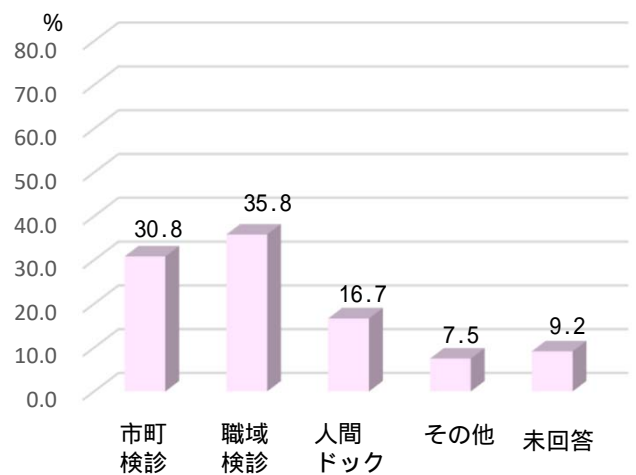
54 子宮がん検診受診機会
(東部・20～60歳代 N=79)



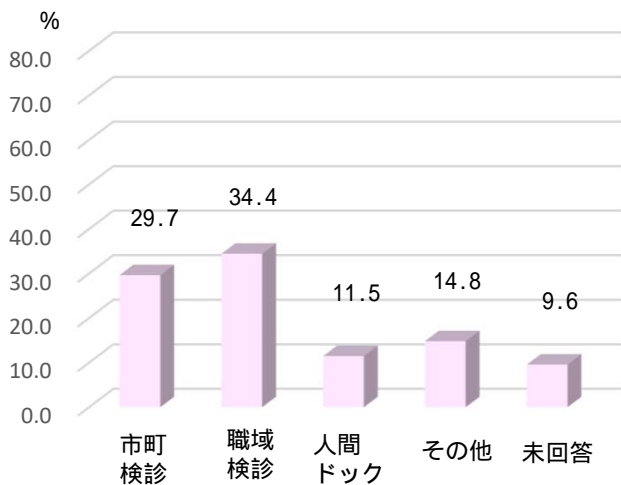
55 子宮がん検診受診機会
(北部・20～60歳代 N=178)



56 子宮がん検診受診機会
(西部・20～60歳代 N=120)



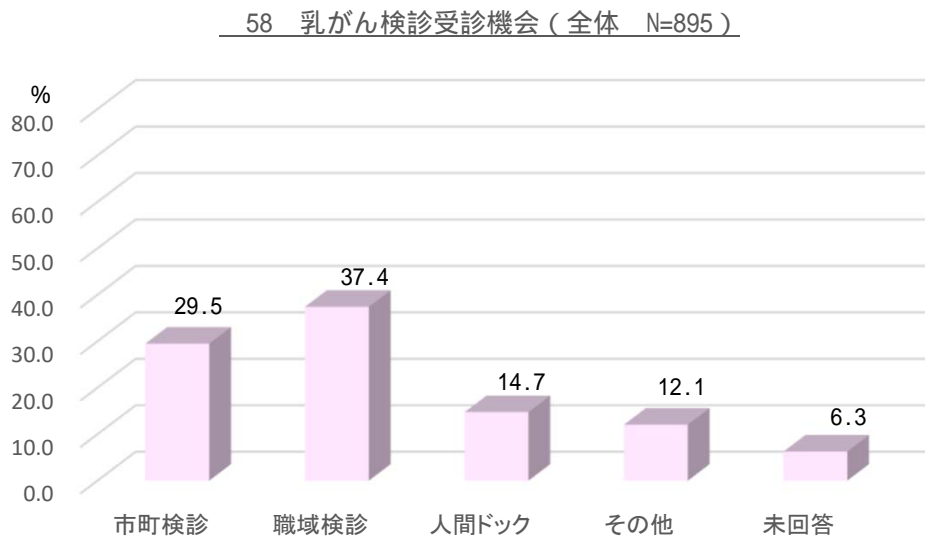
57 子宮がん検診受診機会
(南部・20～60歳代 N=209)



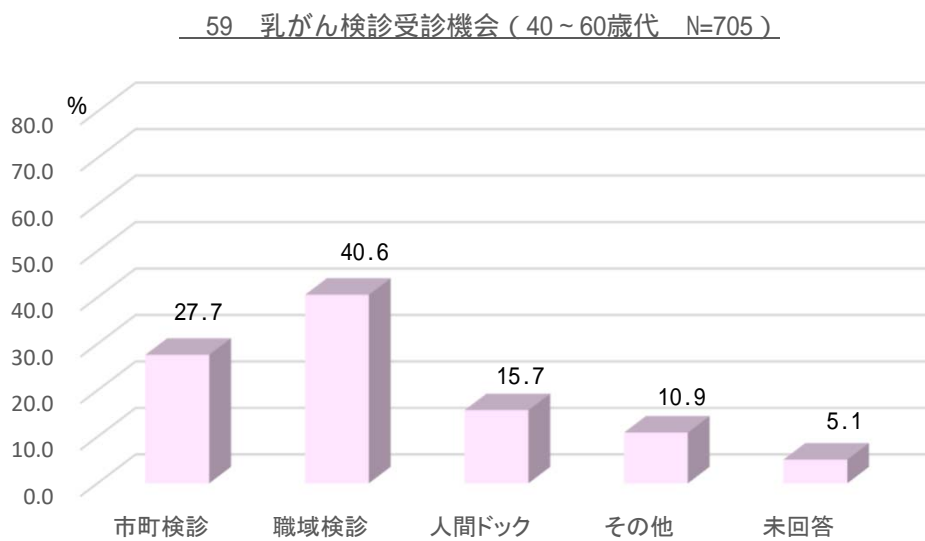
【乳がん】

乳がん検診の受診機会は、全体で見ると肺、大腸、胃がん検診と同じく、職域検診が37.4%と最も高く、次に市町検診が29.5%となっているが、その差は、肺、大腸、胃がんと比べて7.9ポイントと小さかった。

《全体》

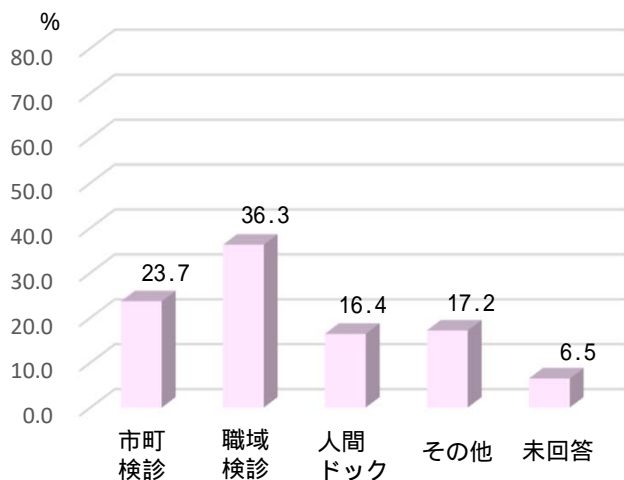


《40～60歳代》

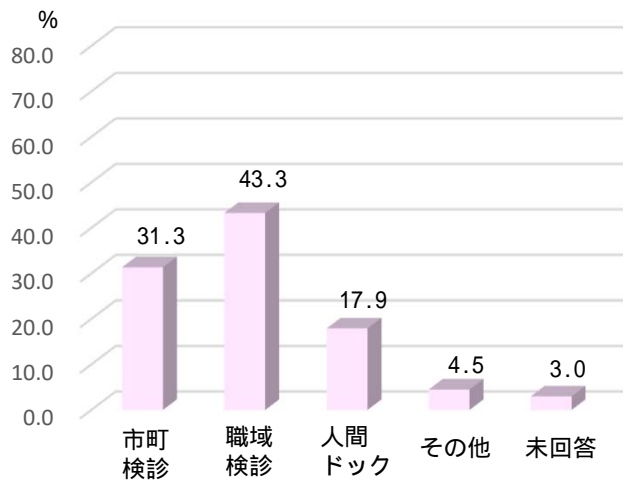


《圏域別・40～60歳代》

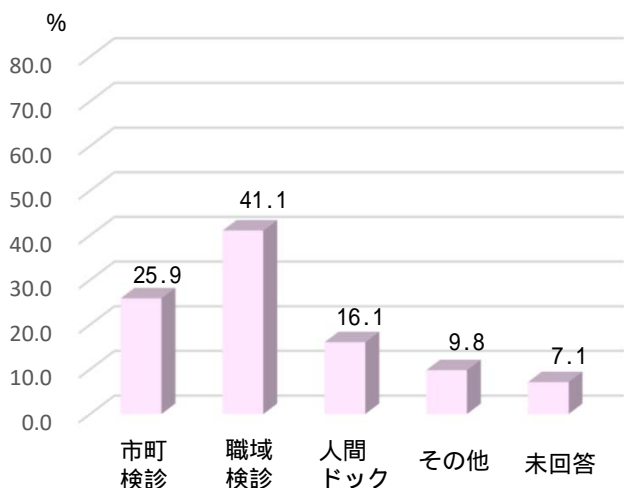
60 乳がん検診受診機会
(中部・40～60歳代 N=262)



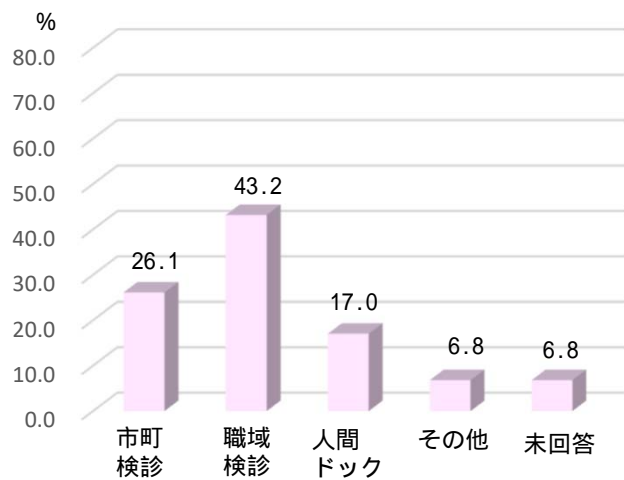
61 乳がん検診受診機会
(東部・40～60歳代 N=67)



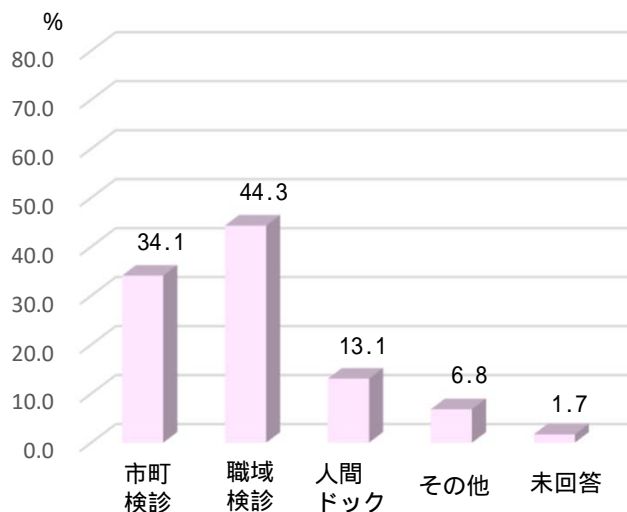
62 乳がん検診受診機会
(北部・40～60歳代 N=112)



63 乳がん検診受診機会
(西部・40～60歳代 N=88)



64 乳がん検診受診機会
(南部・40～60歳代 N=176)



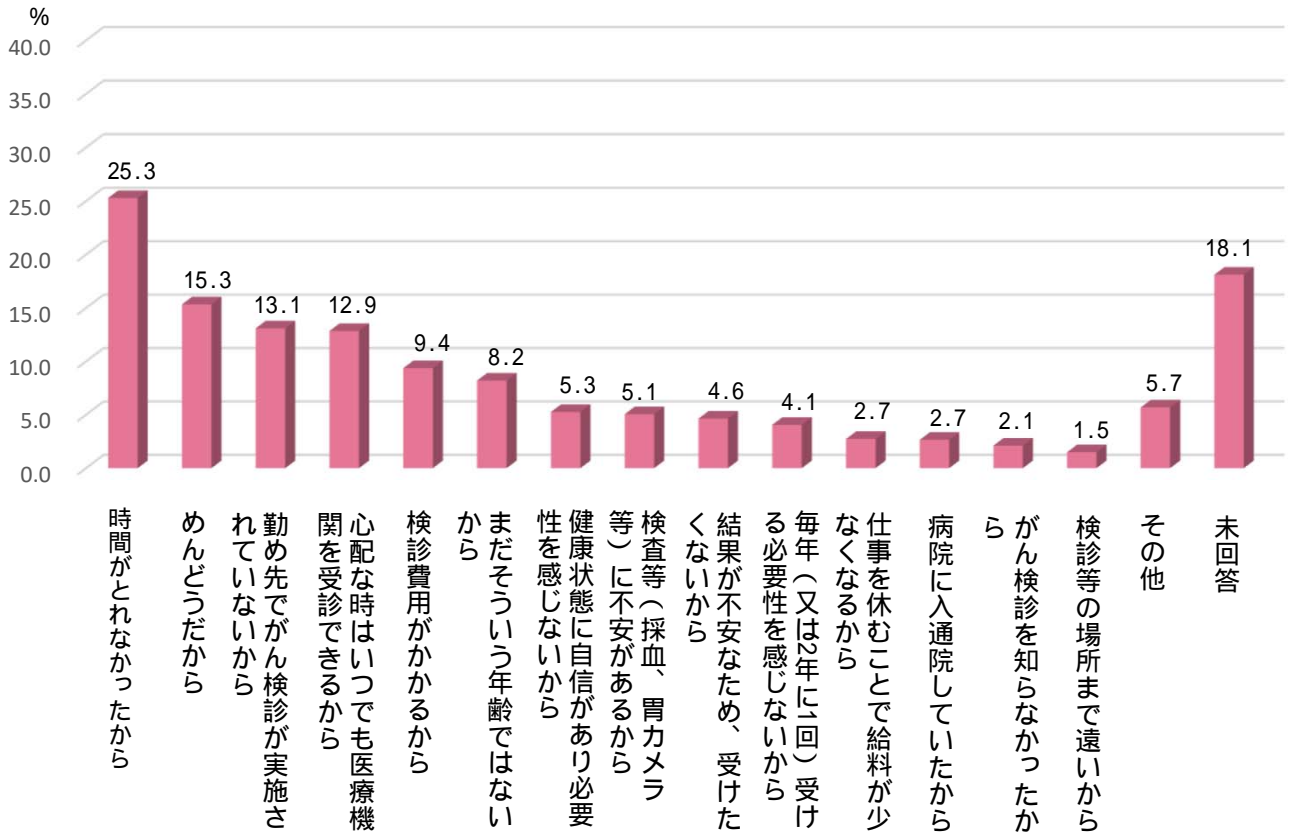
(4) がん検診を受けなかった理由

問) どのような理由でがん検診を受けなかったのですか(複数回答可)。
 (5つのがん検診(子宮、乳がん検診は女性のみ)のうち、一つでも受診しなかった方への設問)

がん検診未受診理由を全体で見ると、「時間がとれなかったから」が25.3%と最も高く、順に「めんどうだから」15.3%、「勤め先でがん検診が実施されていないから」13.1%と続いている。

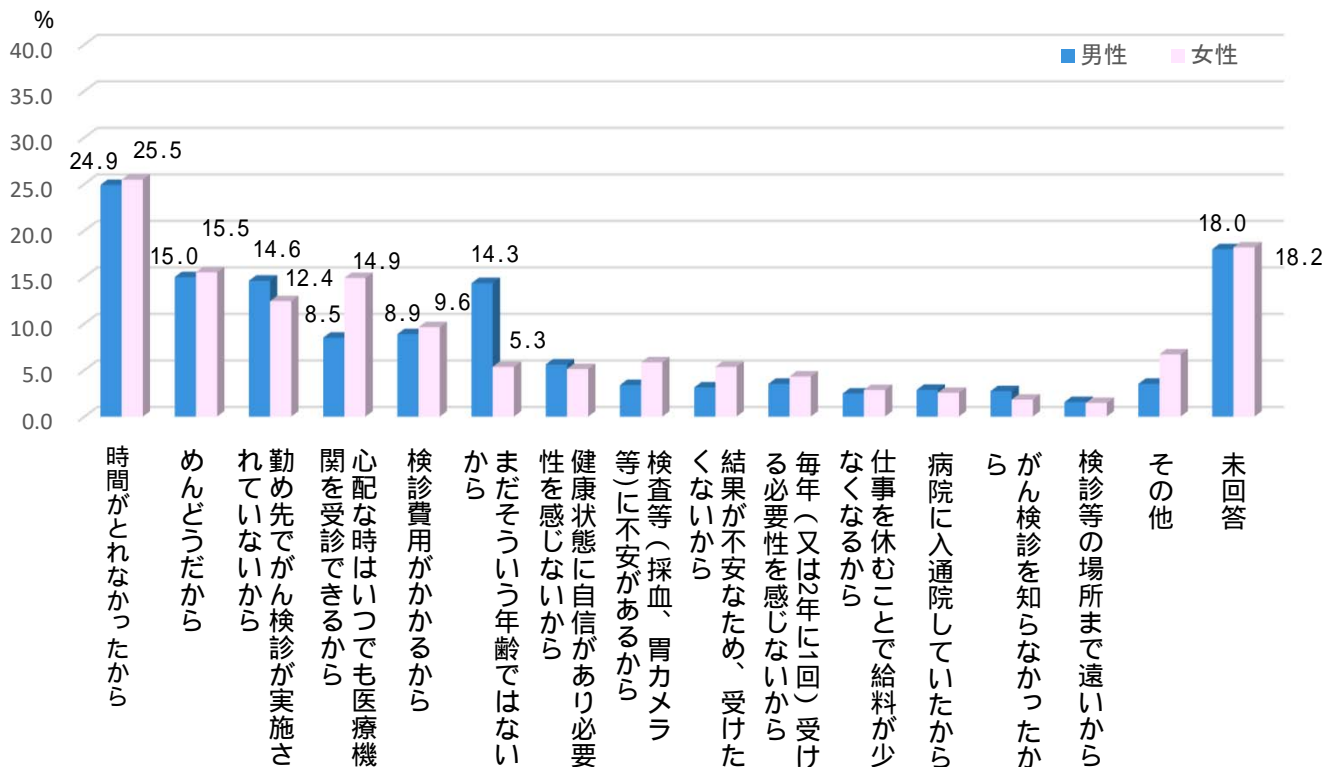
≪ 全体 ≫

65 がん検診未受診理由(全体 N=2,412)



≪ 性別 ≫

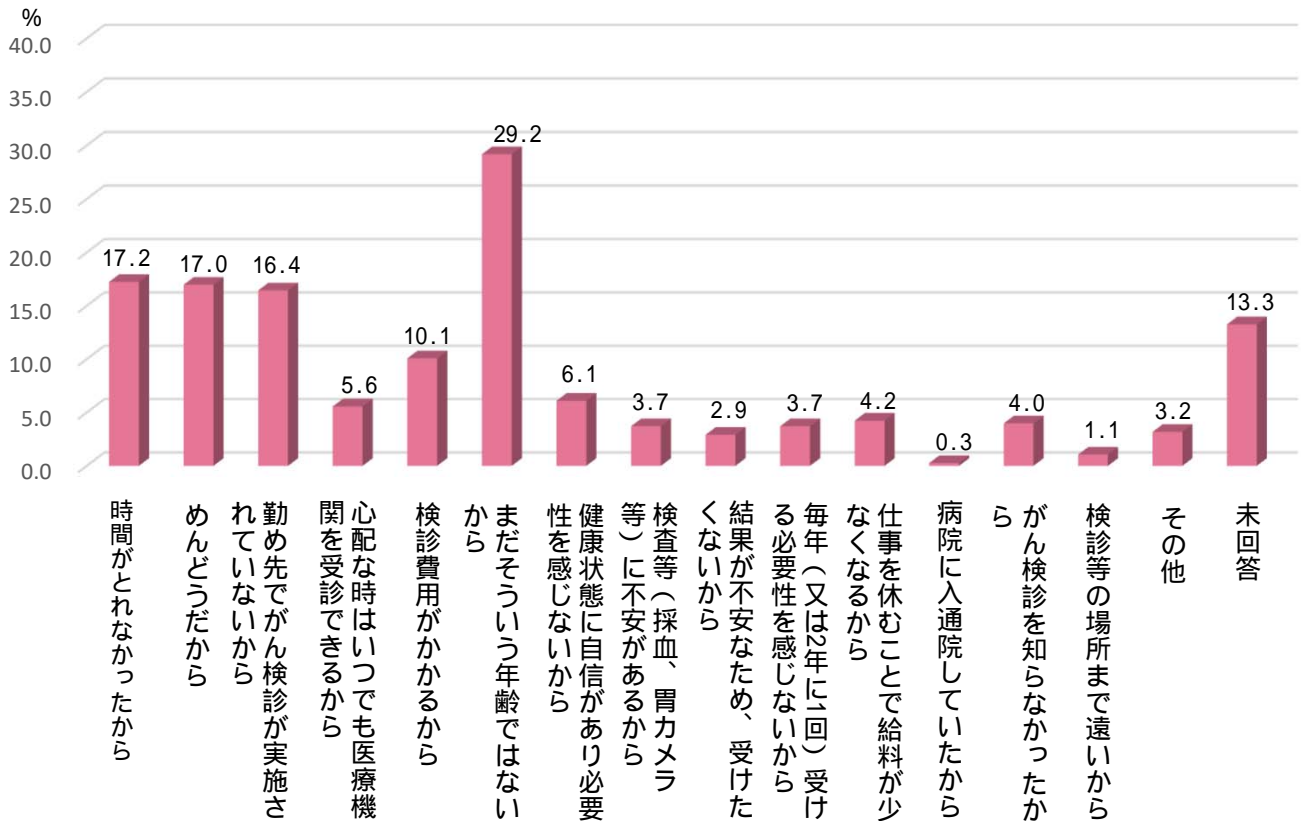
66 がん検診未受診理由(性別 男性N=767 女性N=1,645)



《 20歳代 》

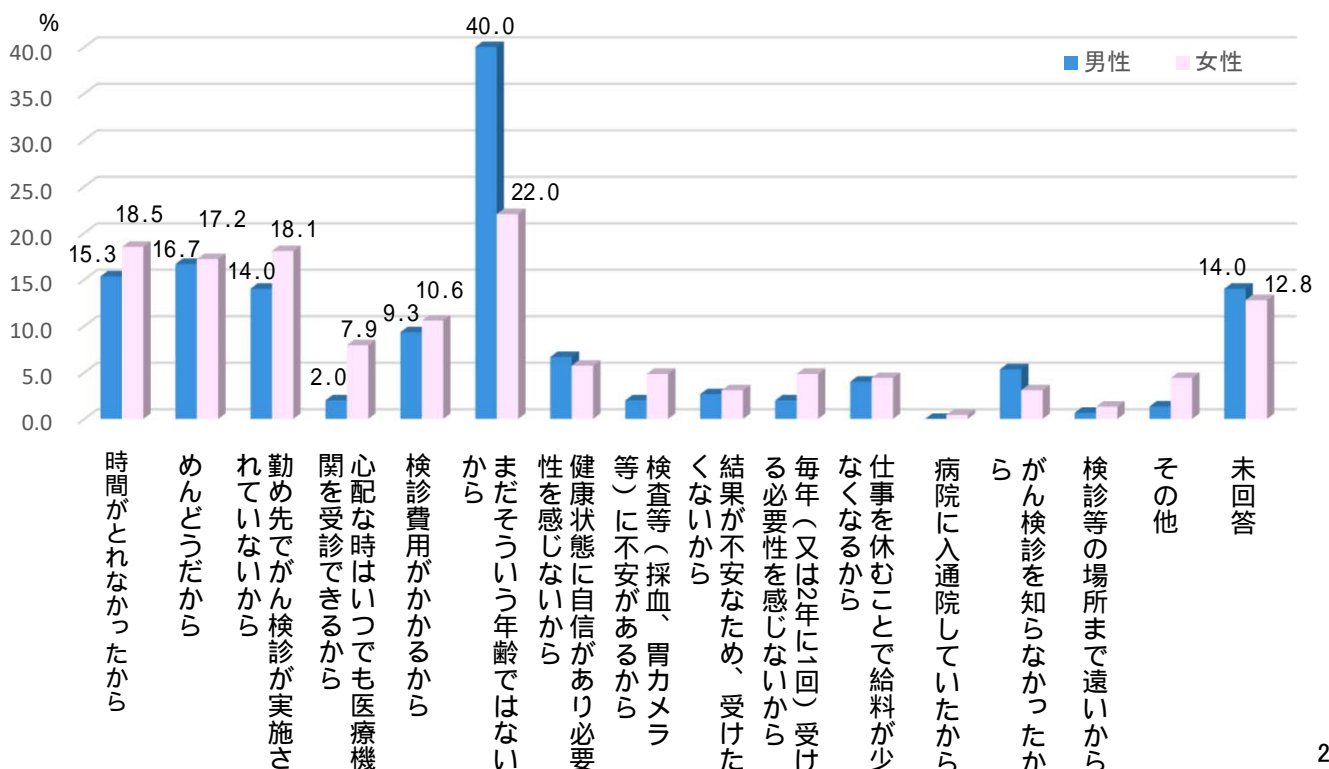
がん検診未受診理由を20歳代で見ると、「まだそういう年齢ではないから」が29.2%と最も高く、順に「時間がとれなかったから」17.2%、「めんどうだから」17.0%と続いている。なお性別に見ると、「まだそういう年齢でないから」が男性40.0%、女性22.0%と18.0ポイントの差となっている。

67 がん検診未受診理由（20歳代 N=377）



《 20歳代：性別 》

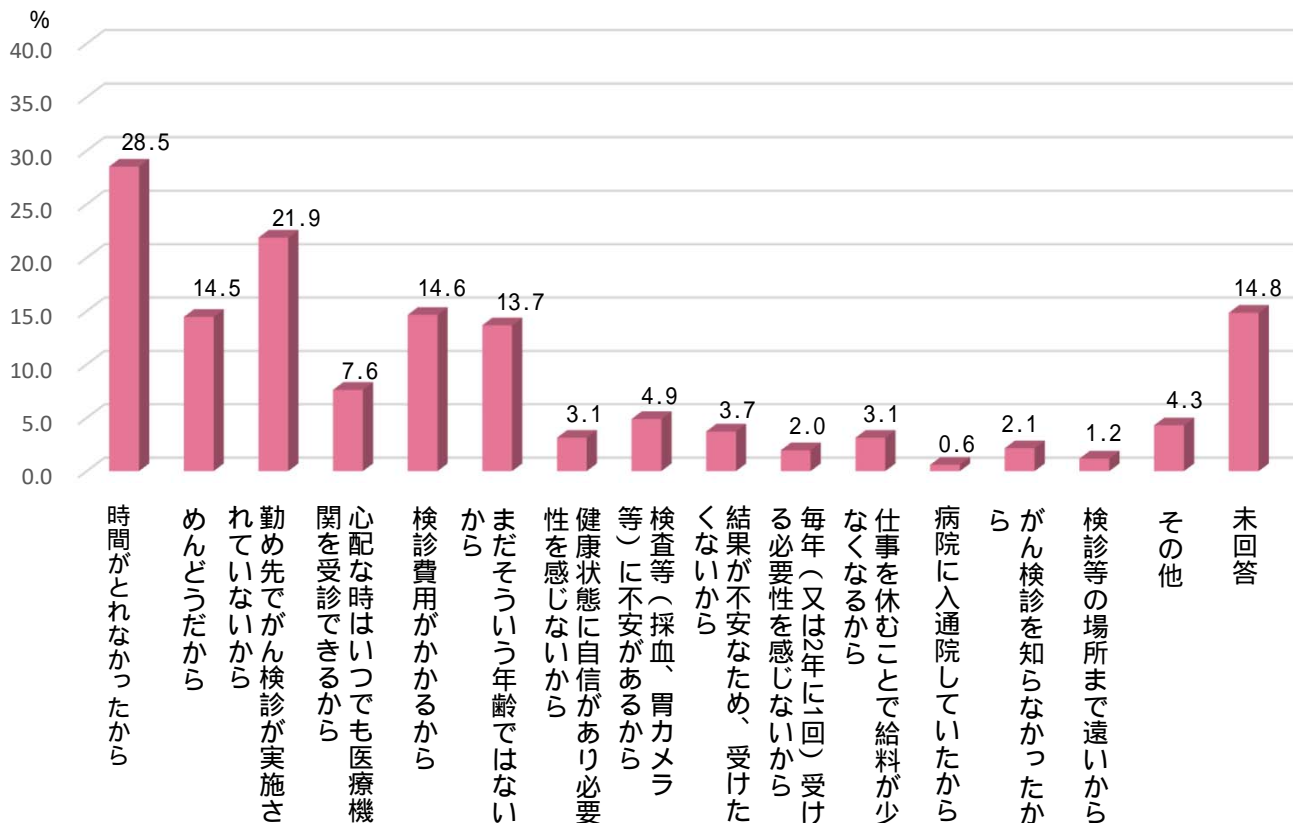
68 がん検診未受診理由（20歳代：性別 男性N=150 女性N=227）



《 30歳代 》

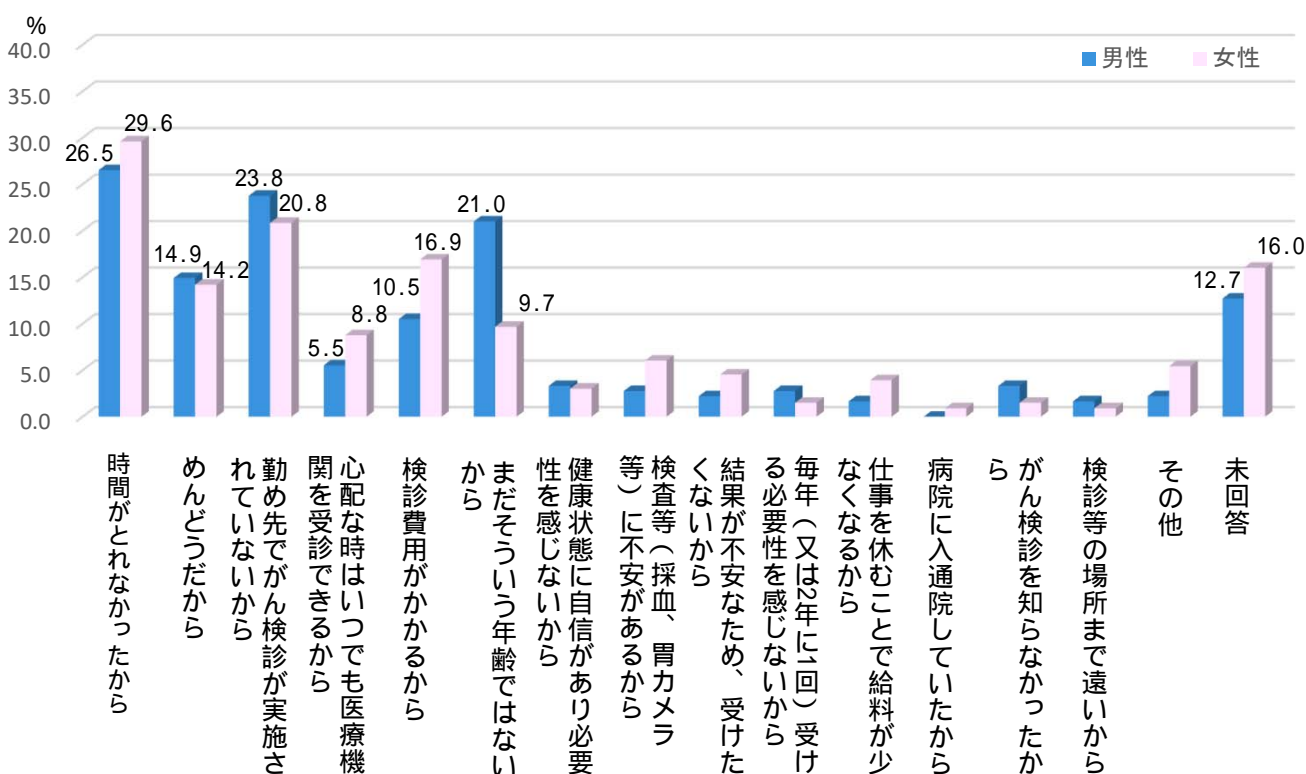
がん検診未受診理由を30歳代で見ると、「時間がとれなかったから」が28.5%と最も高く、順に「勤め先でがん検診が実施されていないから」21.9%、「検診費用がかかるから」14.6%と続いている。なお、20歳代で最も高かった「まだそういう年齢でないから」は、20歳代と比べ半分程度に落ちている。

69 がん検診未受診理由（30歳代 N=512）



《 30歳代：性別 》

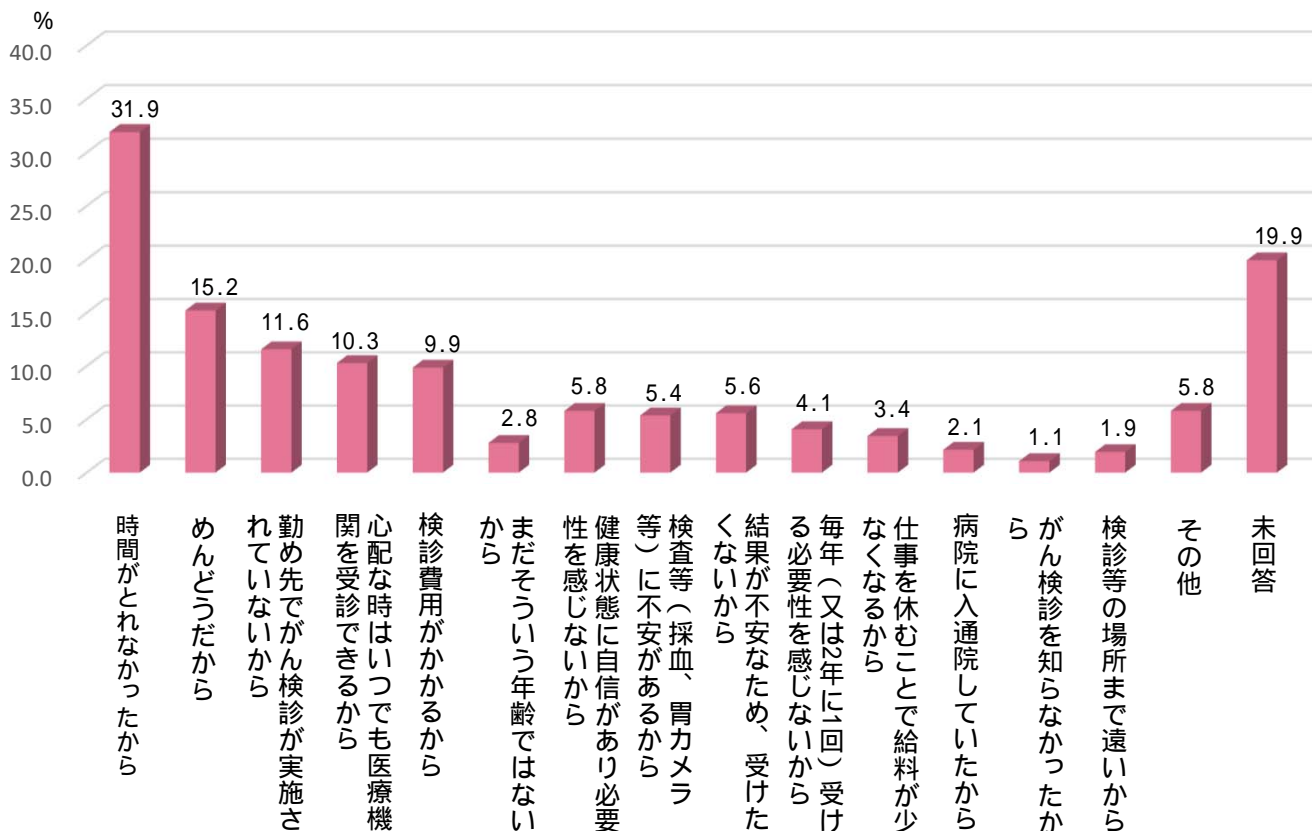
70 がん検診未受診理由（30歳代：性別 男性N=181 女性N=331）



《 40歳代 》

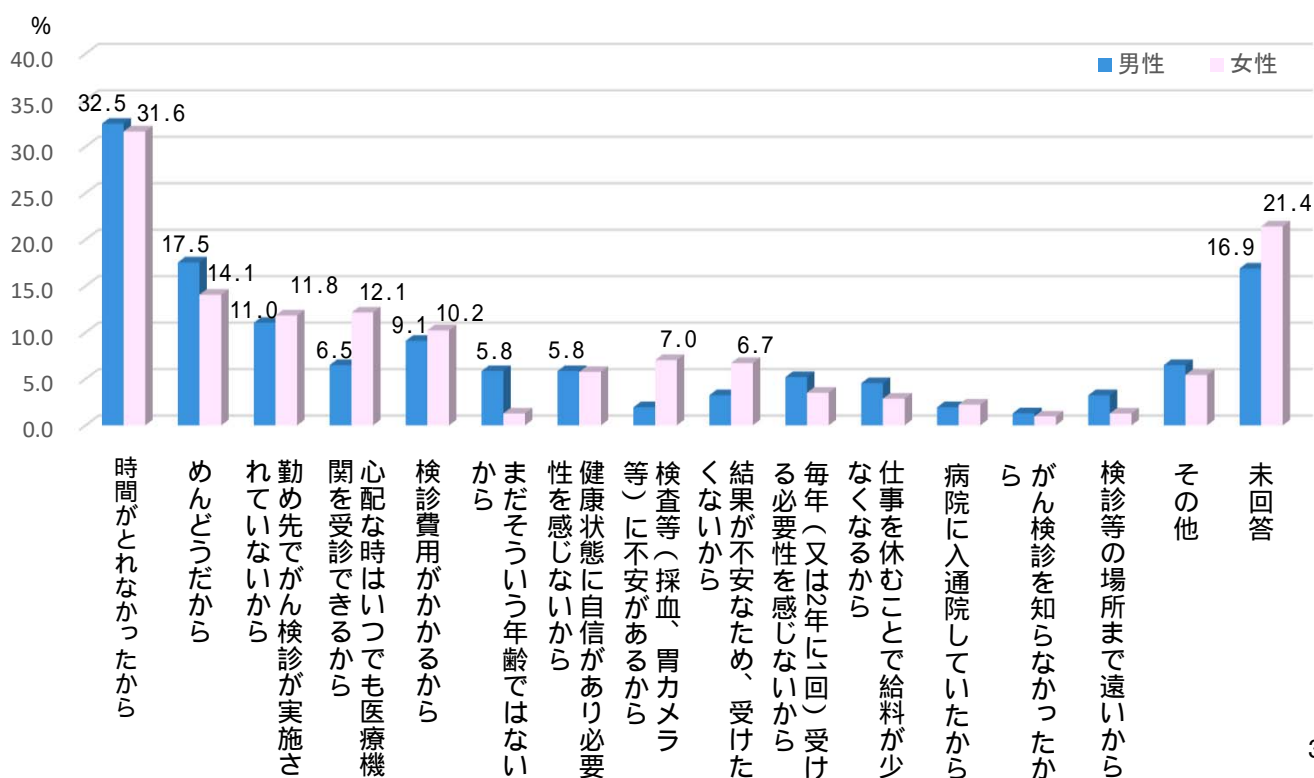
がん検診未受診理由を40歳代で見ると、「時間がとれなかったから」が31.9%と最も高く、順に「めんどうだから」15.2%、「勤め先でがん検診が実施されていないから」11.6%と続いている。なお性別で見ると、男性より女性の方が「検査等に不安があるから」など、不安を抱いている割合が多い傾向が見られた。

71 がん検診未受診理由（40歳代 N=467）



《 40歳代：性別 》

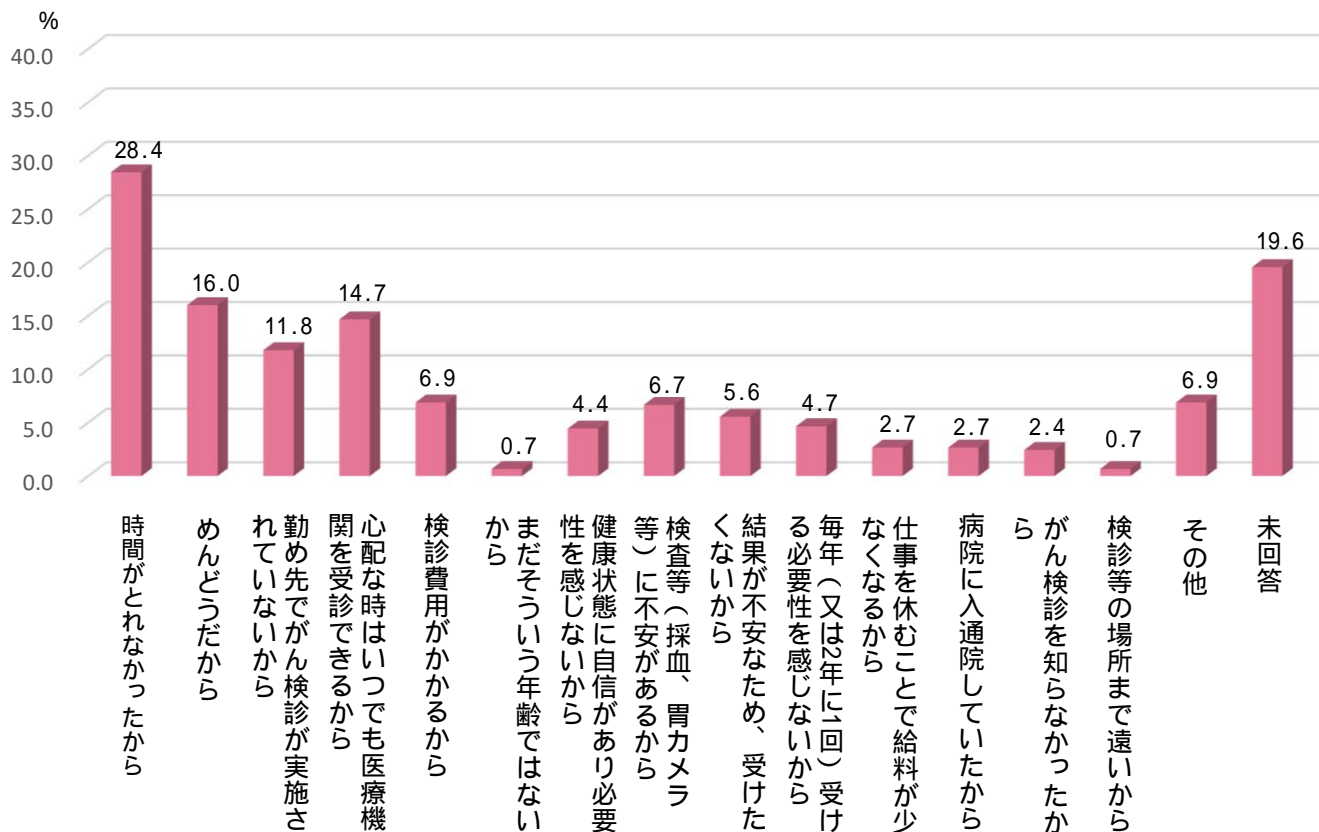
72 がん検診未受診理由（40歳代：性別 男性N=154 女性N=313）



《 50歳代 》

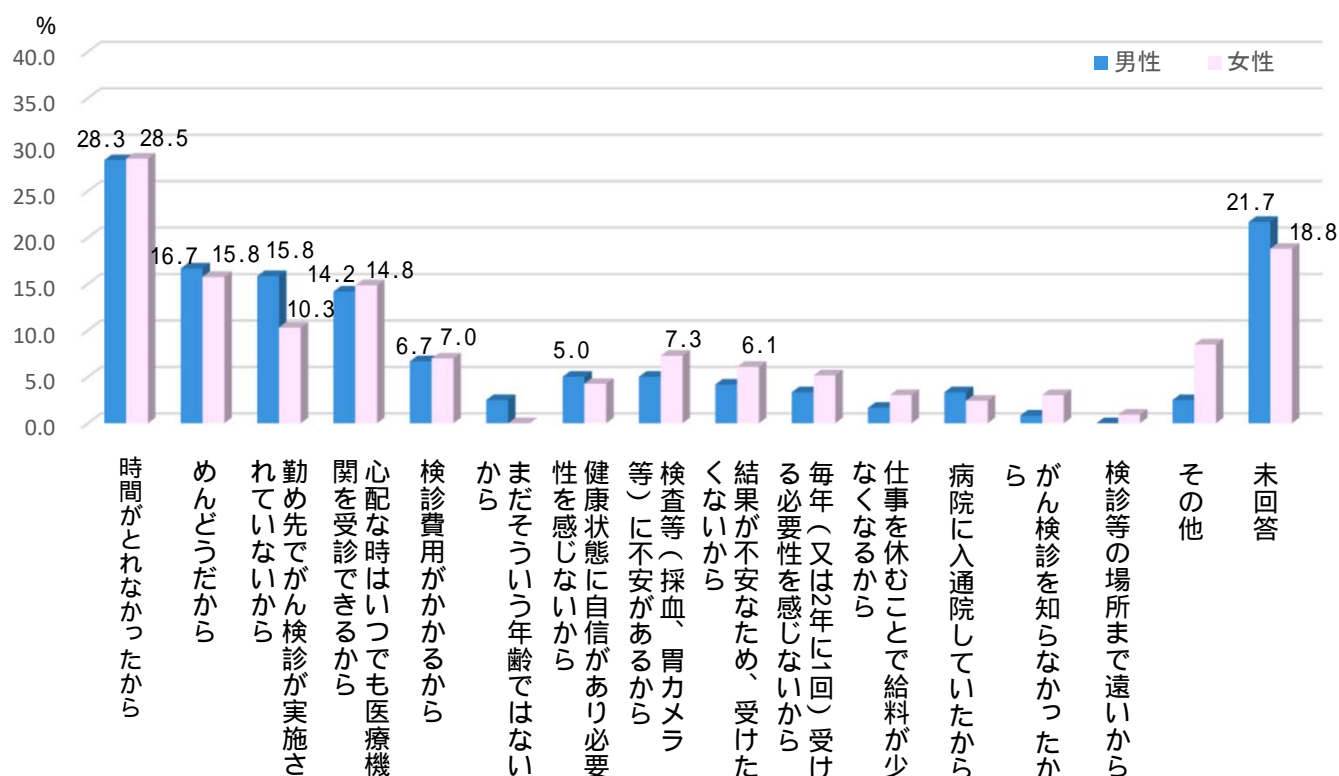
がん検診未受診理由を50歳代で見ると、「時間がとれなかったから」が28.4%と最も高く、順に「めんどうだから」16.0%、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」14.7%と続いている。

73 がん検診未受診理由（50歳代 N=450）



《 50歳代：性別 》

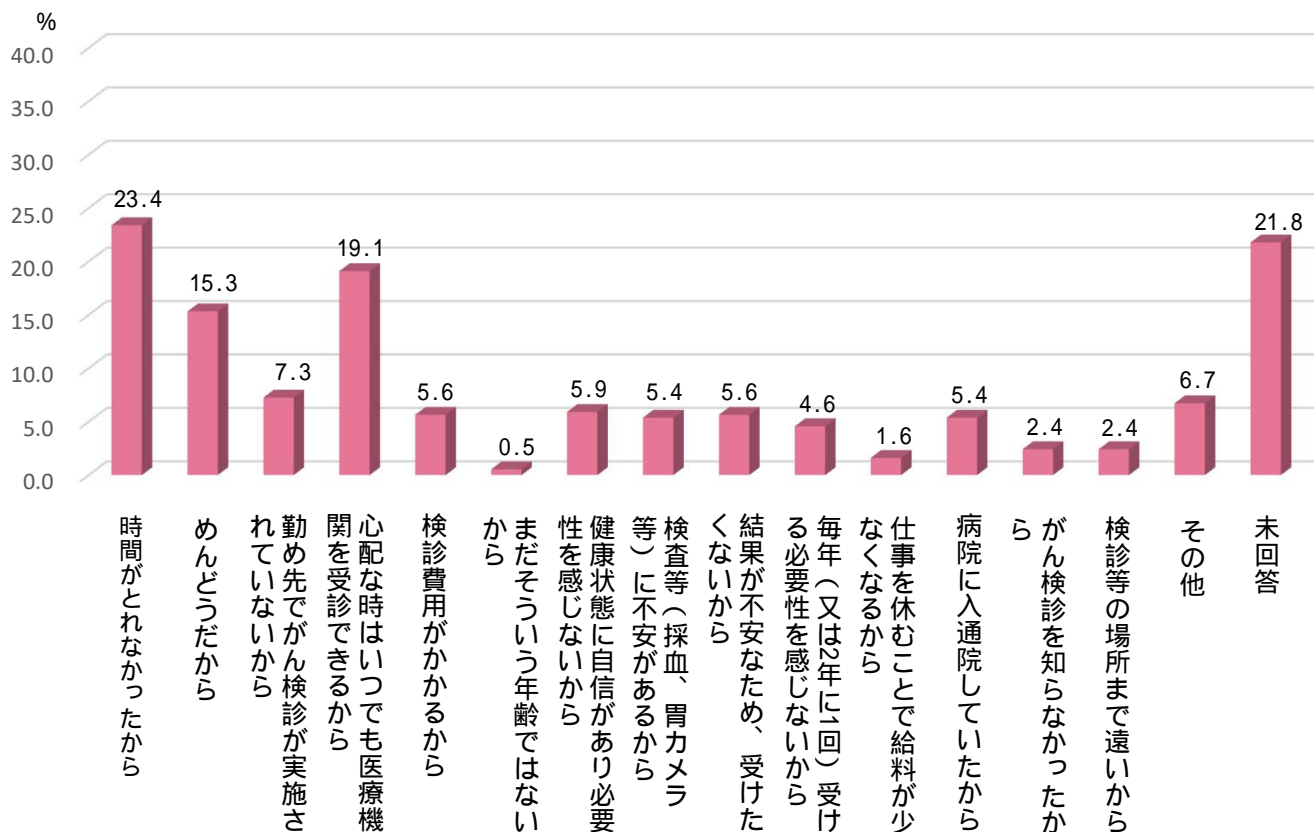
74 がん検診未受診理由（50歳代：性別 男性N=120 女性N=330）



《 60歳代 》

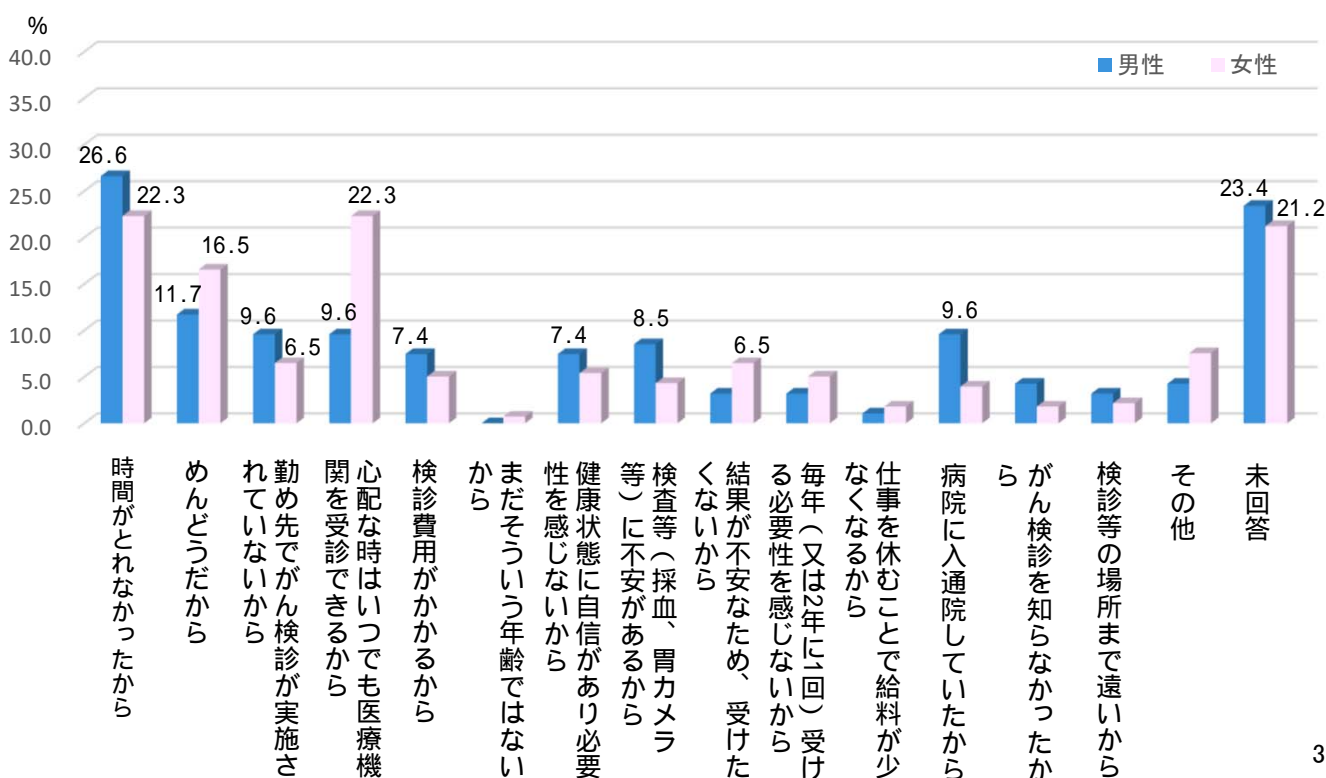
がん検診未受診理由を60歳代で見ると、「時間がとれなかったから」が23.4%と最も高く、順に「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」19.1%「めんどうだから」15.3%と続いている。なお性別に見ると、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」が男性9.6%、女性22.3%と12.7ポイントの差となっている。

75 がん検診未受診理由 (60歳代 N=372)



《 60歳代：性別 》

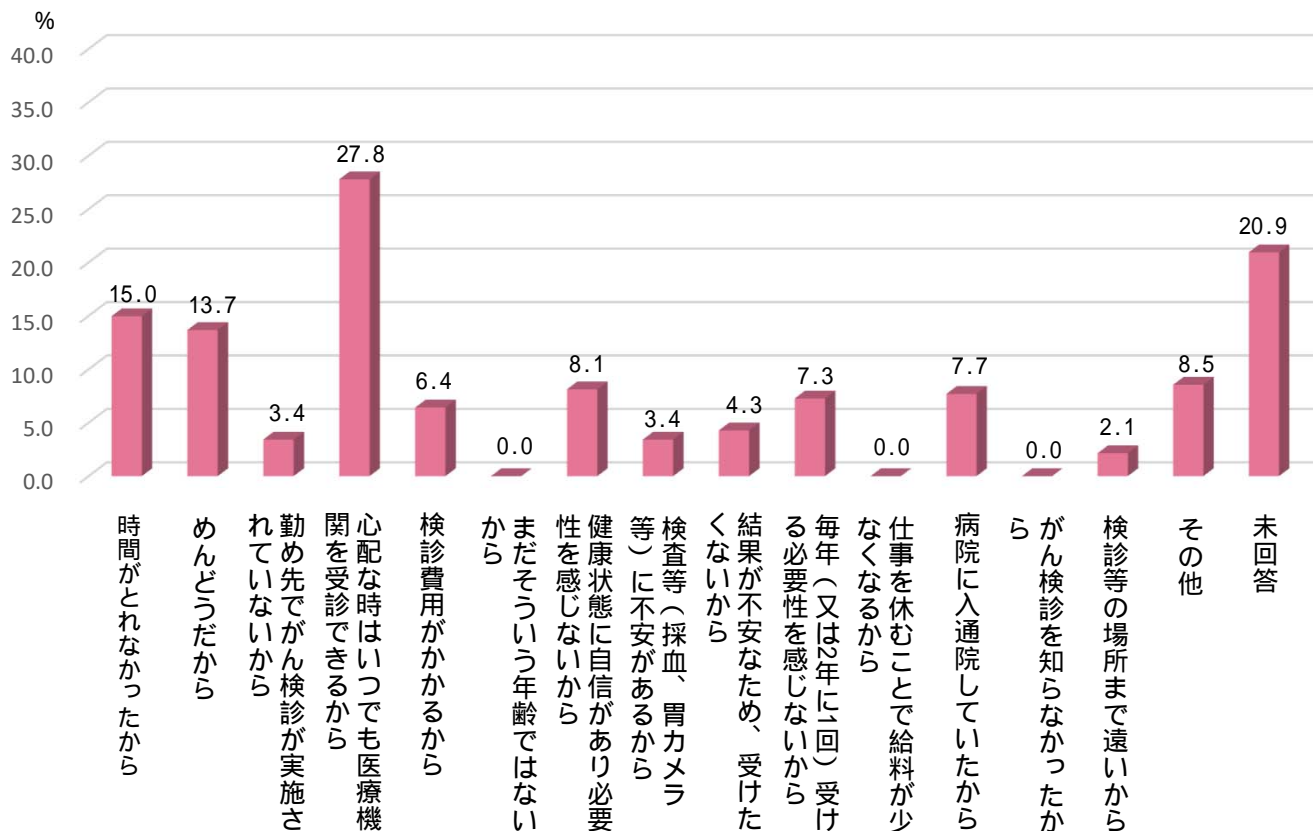
76 がん検診未受診理由 (60歳代：性別 男性N=94 女性N=278)



《 70歳代以上 》

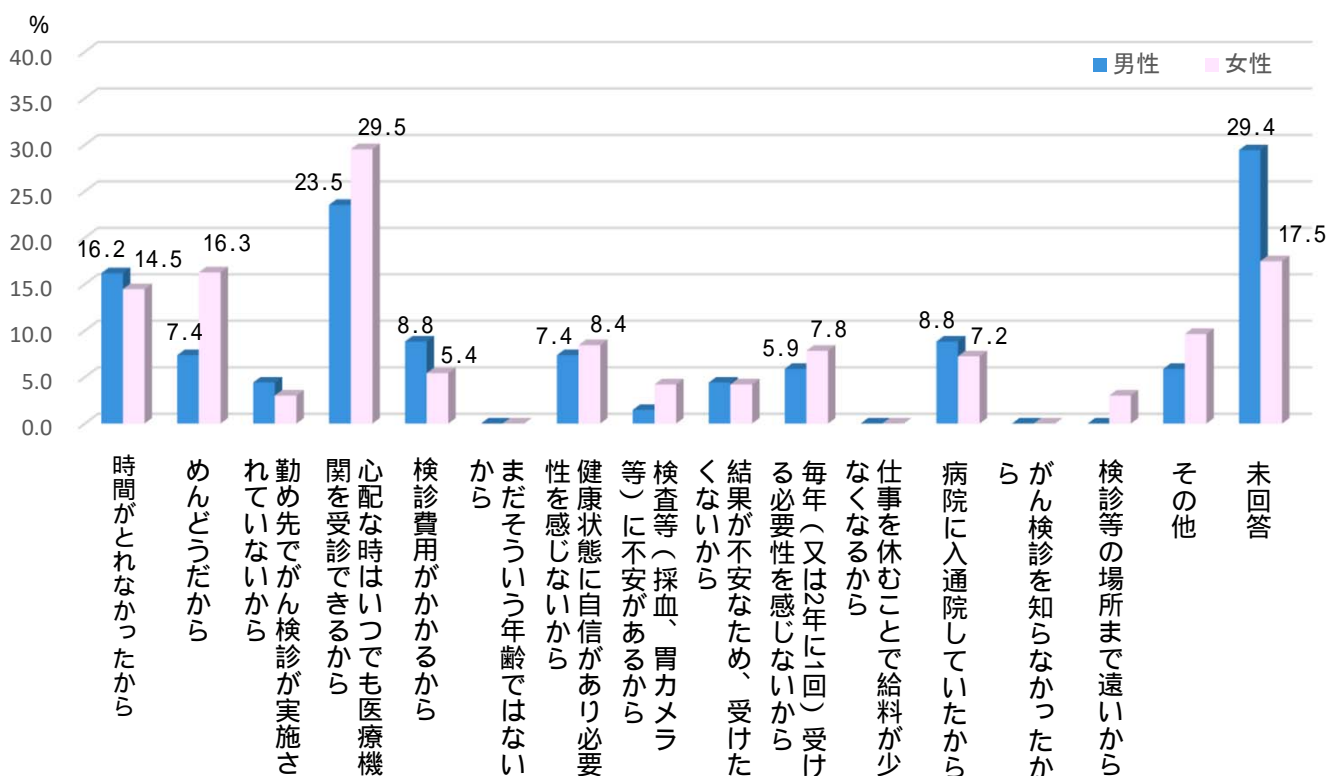
がん検診未受診理由を70歳代で見ると、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」27.8%と最も高く、順に「時間がとれなかったから」が15.0%、「めんどうだから」13.7%と続いている。

77 がん検診未受診理由（70歳代以上 N=234）



《 70歳代以上：性別 》

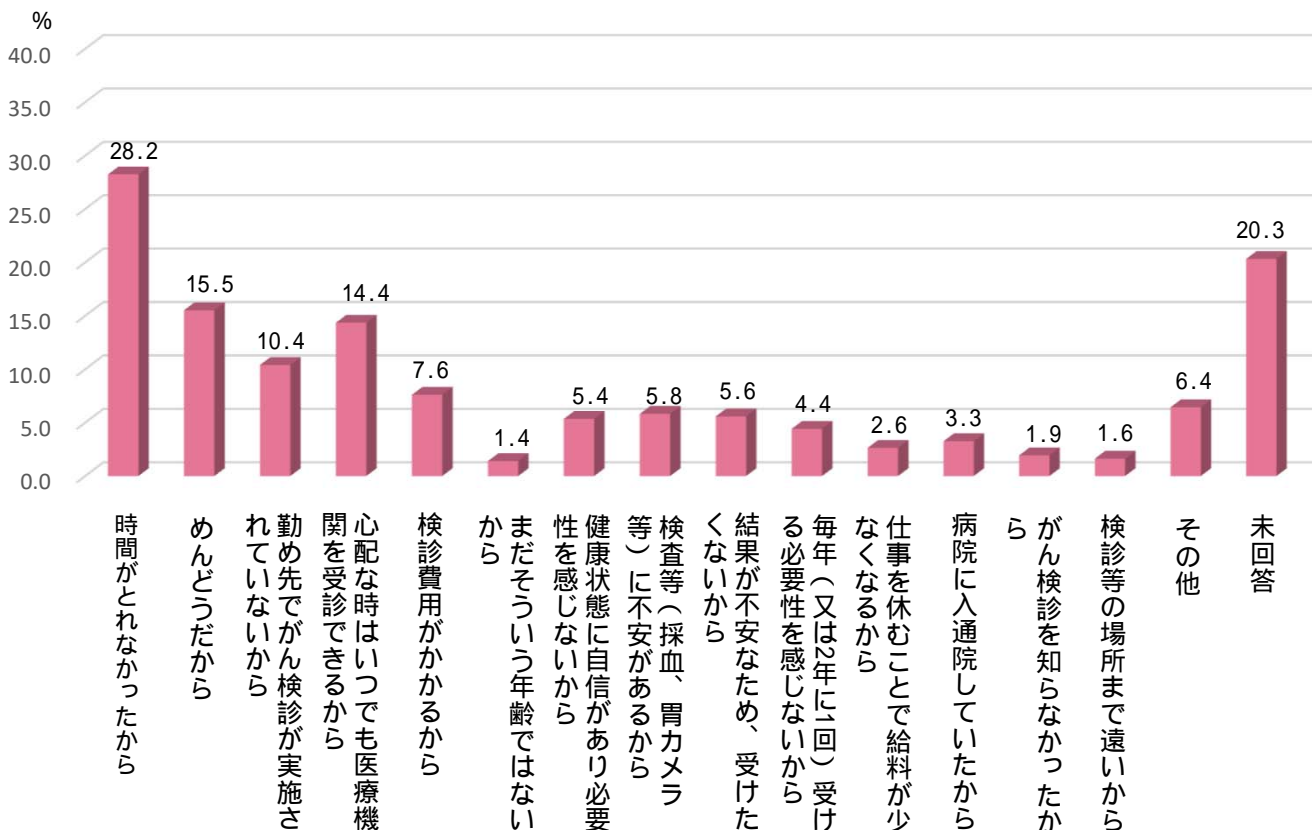
78 がん検診未受診理由（70歳代以上：性別 男性N=68 女性N=166）



《 40～60歳代 》

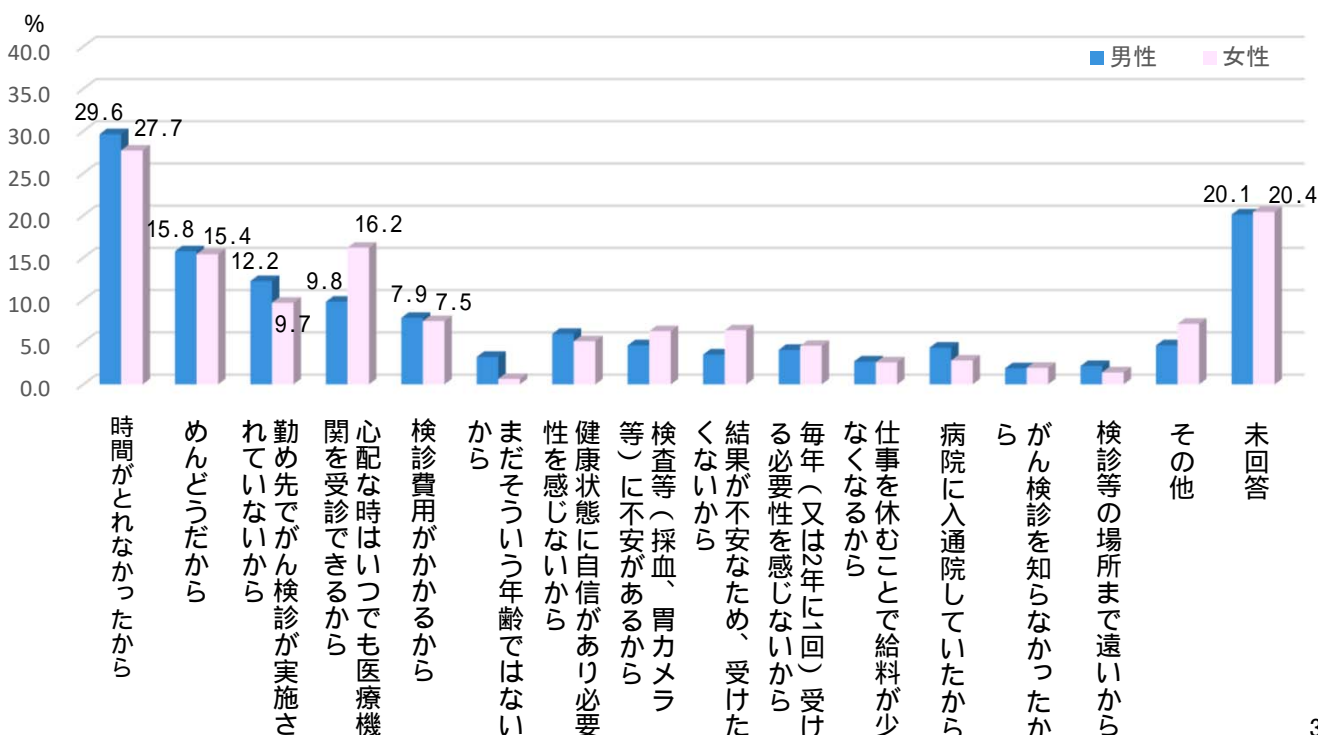
がん検診未受診理由を40～60歳代で見ると、「時間がとれなかったから」が28.2%と最も高く、順に「めんどうだから」15.5%、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」14.4%と続いている。

79 がん検診未受診理由（40～60歳代 N=1,289）



《 40～60歳代：性別 》

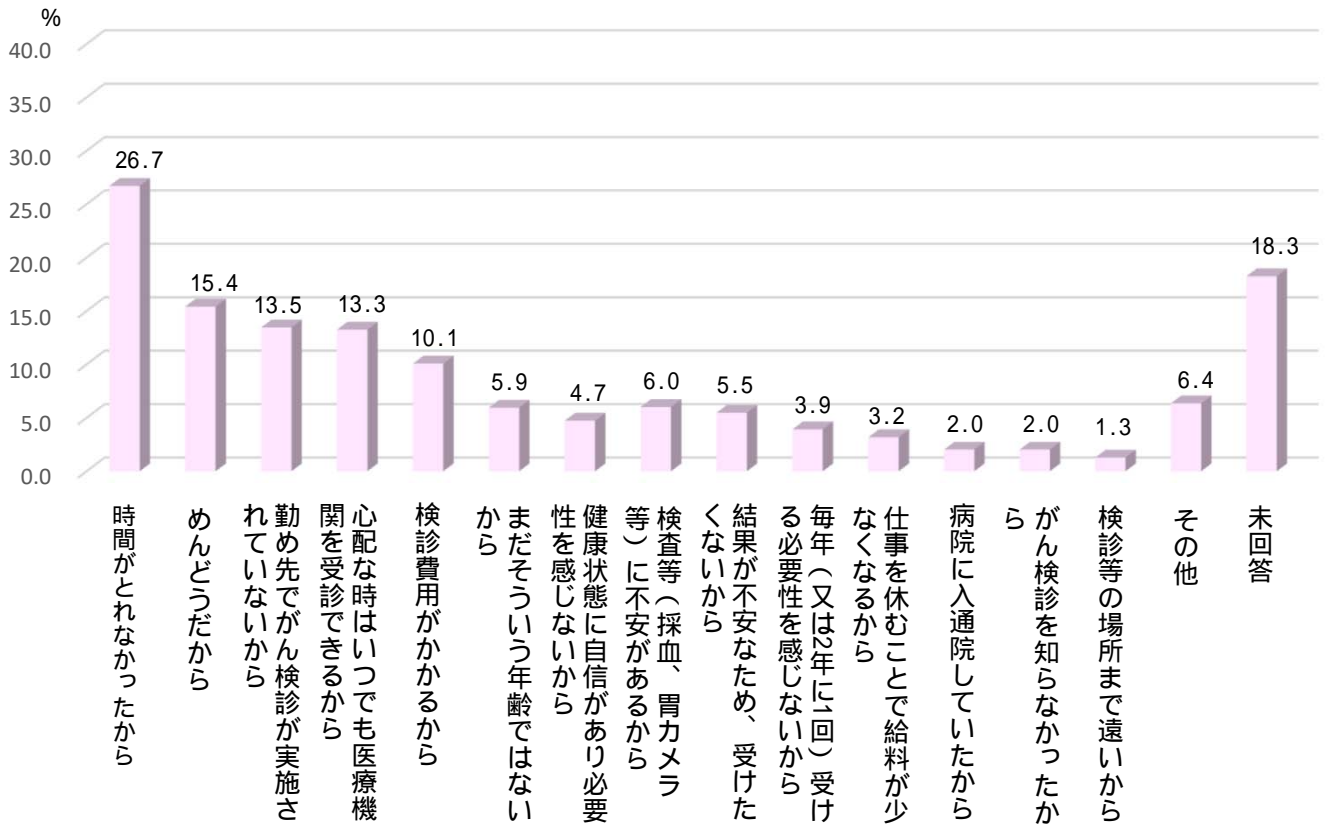
80 がん検診未受診理由
(40～60歳代：性別 男性N=368 女性N=921)



《 20～60歳代：女性 》

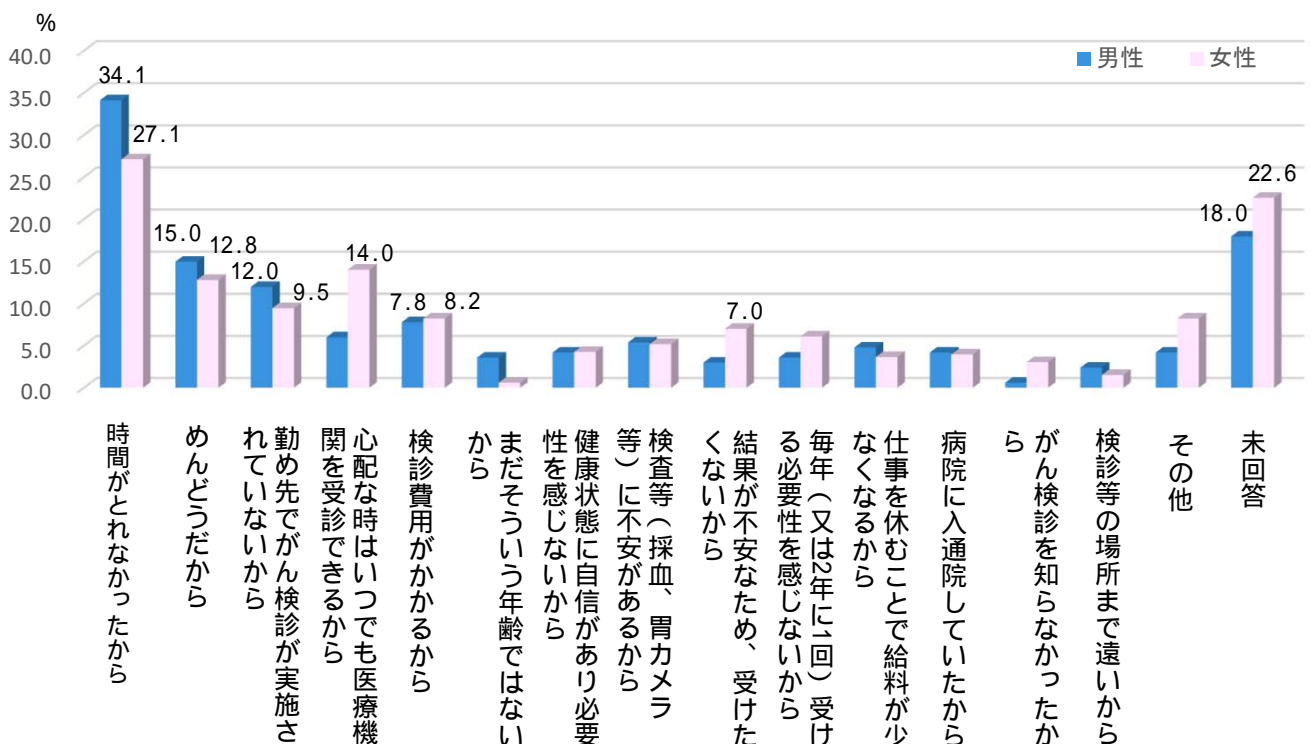
がん検診未受診理由を20～60歳代の女性で見ると、「時間がとれなかったから」が26.7%と最も高く、順に「めんどうだから」15.4%、「勤め先でがん検診が実施されていないから」13.5%と続いている。

81 がん検診未受診理由（20～60歳代：女性 N=1,479）



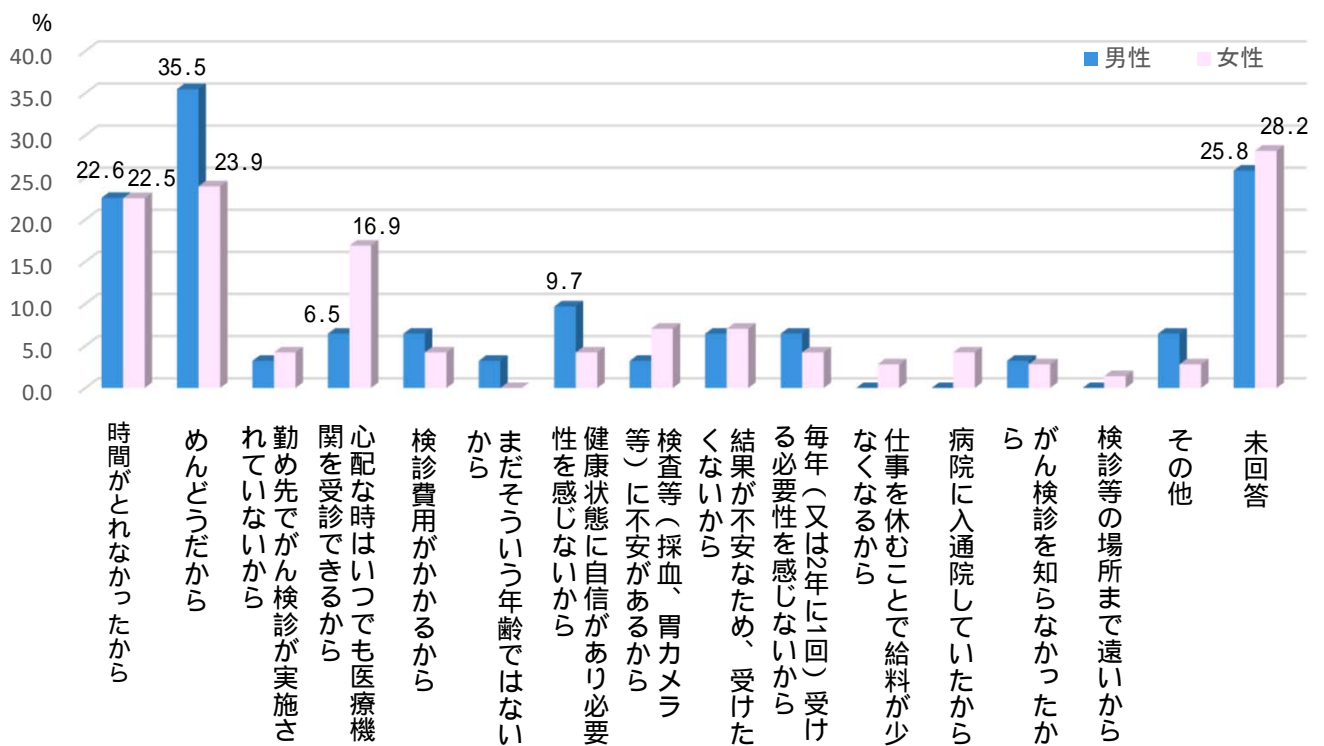
《 40～60歳代：中部・性別 》

82 がん検診未受診理由
(40～60歳代：中部 男性N=167 女性N=328)



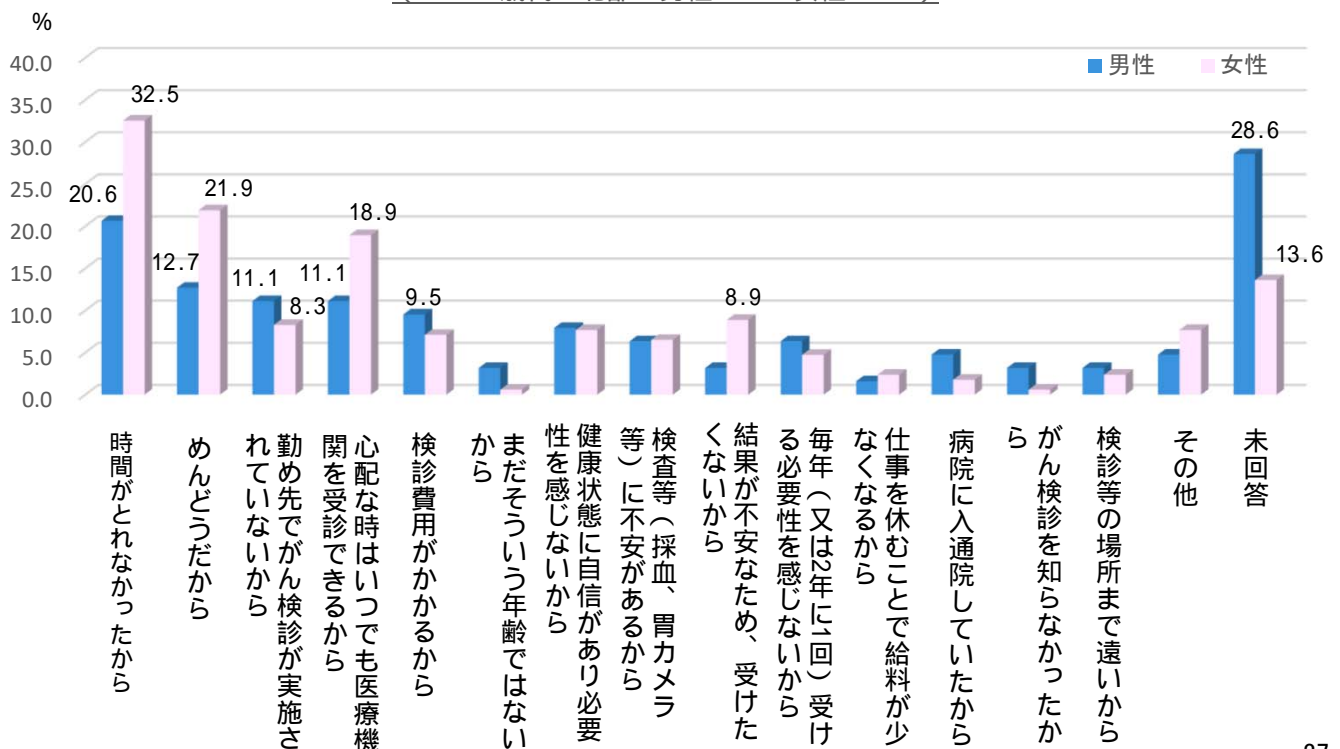
◀ 40～60歳代：東部・性別 ▶

83 がん検診未受診理由
(40～60歳代：東部 男性N=31 女性N=71)



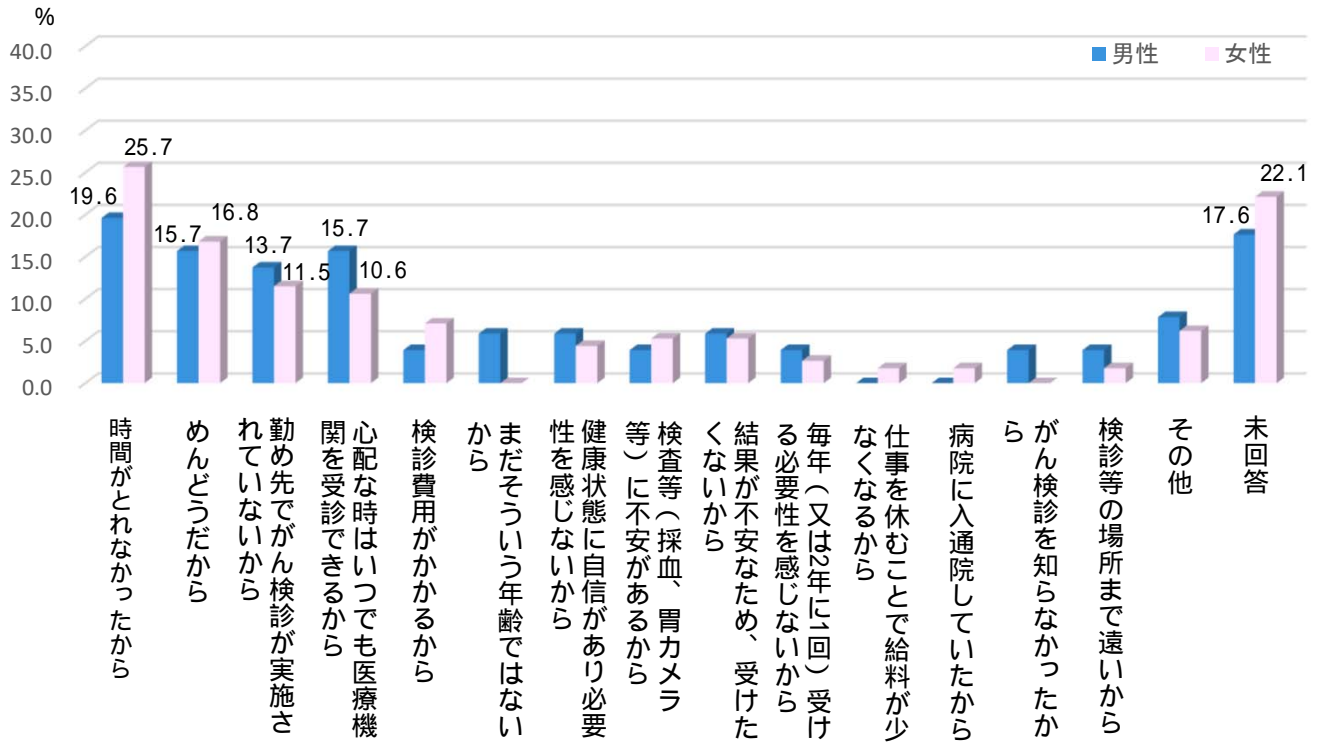
◀ 40～60歳代：北部・性別 ▶

84 がん検診未受診理由
(40～60歳代：北部 男性N=63 女性N=169)



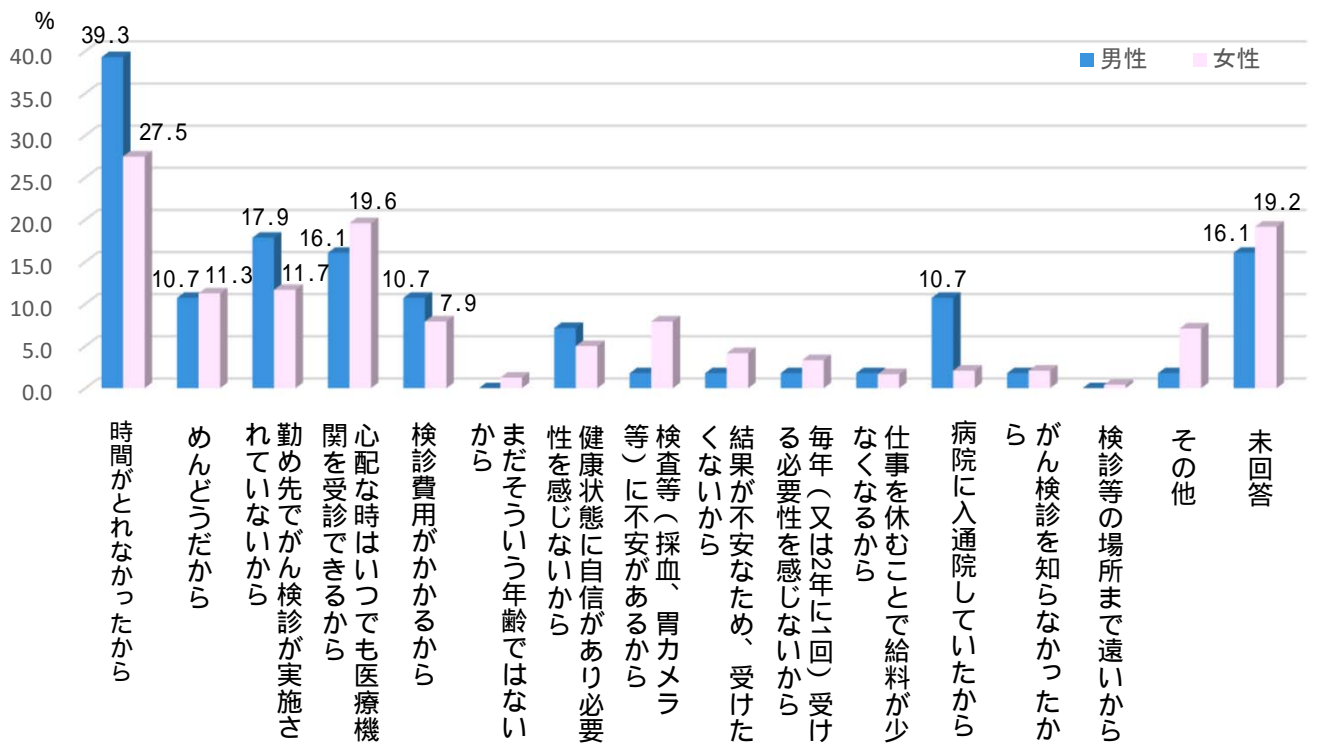
◀ 40～60歳代：西部・性別 ▶

85 がん検診未受診理由
(40～60歳代：西部 男性N=51 女性N=113)



◀ 40～60歳代：南部・性別 ▶

86 がん検診未受診理由
(40～60歳代：南部 男性N=56 女性N=240)



【年代別・圏域別のがん検診未受診理由の傾向】(割合が高いほど濃い色。)

≪ 年代別（男性） ≫

	つ た か ら	時 間 が と れ な か	め ん ど う だ か ら	い 診 勤 な が め 実 先 か 施 で さ が れ ん て 検	受 診 も 医 な 療 時 は 機 は 関 い ら を つ	る 検 診 費 用 が か か	あ ら な い か ら	ま だ は そ う い い か う ら 年	感 じ あ り な い か ら	健 康 状 態 に 自 を 信	不 安 が あ る か ら	検 査 等 （ 採 血 、 メ ラ 等 ） に	い め か ら	結 果 が 不 安 な た
20歳代		15.3	16.7	14.0	2.0	9.3		40.0		6.7		2.0		2.7
30歳代		26.5	14.9	23.8	5.5	10.5		21.0		3.3		2.8		2.2
40歳代		32.5	17.5	11.0	6.5	9.1		5.8		5.8		1.9		3.2
50歳代		28.3	16.7	15.8	14.2	6.7		2.5		5.0		5.0		4.2
60歳代		26.6	11.7	9.6	9.6	7.4		0.0		7.4		8.5		3.2
70歳代以上		16.2	7.4	4.4	23.5	8.8		0.0		7.4		1.5		4.4

≪ 年代別（女性） ≫

	つ た か ら	時 間 が と れ な か	め ん ど う だ か ら	い 診 勤 な が め 実 先 か 施 で さ が れ ん て 検	受 診 も 医 な 療 時 は 機 は 関 い ら を つ	る 検 診 費 用 が か か	あ ら な い か ら	ま だ は そ う い い か う ら 年	感 じ あ り な い か ら	健 康 状 態 に 自 を 信	不 安 が あ る か ら	検 査 等 （ 採 血 、 メ ラ 等 ） に	い め か ら	結 果 が 不 安 な た
20歳代		18.5	17.2	18.1	7.9	10.6		22.0		5.7		4.8		3.1
30歳代		29.6	14.2	20.8	8.8	16.9		9.7		3.0		6.0		4.5
40歳代		31.6	14.1	11.8	12.1	10.2		1.3		5.8		7.0		6.7
50歳代		28.5	15.8	10.3	14.8	7.0		0.0		4.2		7.3		6.1
60歳代		22.3	16.5	6.5	22.3	5.0		0.7		5.4		4.3		6.5
70歳代以上		14.5	16.3	3.0	29.5	5.4		0.0		8.4		4.2		4.2

◀ 圏域別（男性） ▶

	つたから	時間がとれなから	めんどつだから	い診勤め ないが先 いから施 からされ て検	受でも心 診で配 できるな るから機 関を	検診費用 がかか るから	年齢まだ ではない から	感健康 がない有 から必 要性を 自信	不安胃 があるカ メラ等 から	検査等 （採血、 胃力メ ラ等）	いめ から、 結果 が不安 な
中部		34.1	15.0	12.0	6.0	7.8	3.6	4.2	5.4		3.0
東部		22.6	35.5	3.2	6.5	6.5	3.2	9.7	3.2		6.5
北部		20.6	12.7	11.1	11.1	9.5	3.2	7.9	6.3		3.2
西部		19.6	15.7	13.7	15.7	3.9	5.9	5.9	3.9		5.9
南部		39.3	10.7	17.9	16.1	10.7	0.0	7.1	1.8		1.8

◀ 圏域別（女性） ▶

	つたから	時間がとれなから	めんどつだから	い診勤め ないが先 いから施 からされ て検	受でも心 診で配 できるな るから機 関を	検診費用 がかか るから	年齢まだ ではない から	感健康 がない有 から必 要性を 自信	不安胃 があるカ メラ等 から	検査等 （採血、 胃力メ ラ等）	いめ から、 結果 が不安 な
中部		27.1	12.8	9.5	14.0	8.2	0.6	4.3	5.2		7.0
東部		22.5	23.9	4.2	16.9	4.2	0.0	4.2	7.0		7.0
北部		32.5	21.9	8.3	18.9	7.1	0.6	7.7	6.5		8.9
西部		25.7	16.8	11.5	10.6	7.1	0.0	4.4	5.3		5.3
南部		27.5	11.3	11.7	19.6	7.9	1.3	5.0	7.9		4.2

参 考 资 料

1 がん検診等に関するアンケート調査票



がん検診等に関するアンケート

このアンケートは、今後の佐賀県がん対策の取り組みの参考とするため、佐賀県健康増進課が生命保険協会佐賀県協会及び当協会加盟生命保険会社に依頼して行っております。

また、このアンケートは統計法第2条第5項に規定する統計調査として実施するもので、アンケート票記載の情報の秘密保護には万全を期しておりますので、ありのままをご記入ください。

◎ 以下の質問に対して（ ）内には記入、選択肢となっているものについては当てはまる番号に○印をつけてください。また、その他を選んだ方は具体的な内容を記入してください。

問1 あなたの住所地、性別、年齢についてお答えください。

- ◇ 住所地 () 市・町
- ◇ 性別 1. 男 2. 女
- ◇ 年齢 () 歳

問2 あなたは過去1年間に、健康診断、健康診査及び人間ドックを受けたことがありますか。
なお、がんのみの検診、妊産婦検診、歯の健康診査、病院や診療所で行う診療としての検査は含みません。

- 1. ある
- 2. ない

☛ 以下、問3、問4、問5のがん検診については、健康診断、健康診査及び人間ドックの中で受診したものも含まれます。

問3 あなたは過去1年間に、肺がん、大腸がん検診を受けましたか。

- ◇ 肺がん検診（胸のレントゲン撮影や喀痰（かくたん）検査など）
 - 1. 受けた
 - 2. 受けなかった
- ◇ 大腸がん検診（便潜血反応検査（検便）など）
 - 1. 受けた
 - 2. 受けなかった

問4 あなたは過去2年間に、胃がん検診（バリウムによるレントゲン撮影や内視鏡（胃カメラ、ファイバースコープ）による撮影など）を受けましたか。

- 1. 受けた
- 2. 受けなかった

裏のページに続きます。

2 アンケート調査協力団体

	協力団体（会社）名	所在地
1	第一生命保険株式会社	佐賀市水ヶ江1-2-28-2F
2	住友生命保険相互会社	佐賀市駅南本町5-1 日進佐賀ビル7F
3	日本生命保険相互会社	佐賀市駅前中央1-14-40 ニッセイ佐賀駅前ビル8F
4	明治安田生命保険相互会社	佐賀市駅南本町3-15 明治安田生命佐賀ビル5F
5	大同生命保険株式会社	佐賀市神野東4-1-19-2F
6	アフラック生命保険株式会社	佐賀市駅南本町6-4 佐賀中央第一生命ビルディング3F
7	大樹生命保険株式会社	佐賀市駅前中央1-9-45 大樹生命佐賀駅前ビル8F
8	アクサ生命保険株式会社	佐賀市白山2丁目1-12 佐賀商工ビル5F
9	朝日生命保険相互会社	佐賀市駅前中央1-5-10 朝日生命佐賀駅前ビル7F
10	株式会社かんぼ生命保険	佐賀市高木瀬西3-2-5-2F
11	ジブラルタ生命保険株式会社	佐賀市駅前中央1-10-37 佐賀駅前センタービル4F
12	SOMPOひまわり生命保険株式会社	佐賀市天神2-2-37 損保ジャパン佐賀天神ビル1F
13	太陽生命保険株式会社	佐賀市駅前中央1-4-8-6F
14	東京海上日動あんしん生命保険株式会社	佐賀市駅前中央1-6-25 佐賀東京海上日動ビル8F
15	富国生命保険相互会社	佐賀市堀川町1-14 佐賀フコク生命ビル4F
16	三井住友海上あいおい生命保険株式会社	佐賀市駅前中央1-9-45 大樹生命佐賀駅前ビル7F
17	一般社団法人 生命保険協会佐賀県協会	佐賀市駅前中央1-9-45大樹生命佐賀駅前ビル8F

